

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



第38回全国高等学校総合文化祭

いばらき総文2014

創造の花を咲かせよ 筆を舞え 筑波の風を吹かせよ 文化の風

平成26年7月27日（日）－7月31日（木）



# 将棋部門

## 運営要領



開催日 平成26年7月27日（日）～  
平成26年7月28日（月）

会場 茨城県武道館

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

目 次

実施要領	2
対局規定・スイス式トーナメント方式について	6
選手名簿	8
要員とスケジュール	14
分掌別業務	17
開会式・5位表彰・閉会式シナリオ	27
配置図	32
資料（対局カード、交流会等）	47
資料（栄光の記録）	51
資料（弁当等）	53
棋士の動き	55
資料（プリンター）	57
資料（バス時刻表）	58
緊急時対応マニュアル	60
個人情報の取り扱いについて	67

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

実施要領

1 日 時 平成26年7月27日（日） 9:00～18:30  
7月28日（月） 8:30～13:00

※受付について

7月26日（土）14:00以降、及び7月27日（日）8:00～8:40に会場において行います。配付物（IDカード等）はそのときお渡しします。混雑緩和のため、出場選手の受付は引率者の代理受付とします。

2 会 場 茨城県武道館  
〒310-0045 茨城県水戸市新原2-11-1（堀原運動公園内）  
TEL 029-251-8444 FAX 029-252-2554  
HP: <http://www.ibaraki-sports.or.jp/horihara/>

3 大会日程

◎ **7月26日（土）** 受付 14:00～16:00（茨城県武道館）  
【主催者間会議】 茨城県武道館会議室 16:00～18:00  
日本将棋連盟、全国高文連将棋部会長、全国専門委員長（岩手県）  
開催年度3年以内専門委員長（茨城・滋賀・広島 各県代表者）

◎ **7月27日（日）**  
7:50～8:40 受付（前日受付未了者）  
参加者は8:40までに、開会式場に入場完了し、1回戦の座席に着席する  
9:00～9:30 開会式

【競技進行】（時間は目安／各部門ともベスト4まで行う）  
男女団体（20分切れ30秒） 男女個人（15分切れ30秒）  
9:40～10:40 予選1回戦 9:40～10:30 予選1回戦  
10:50～11:50 予選2回戦 10:40～11:30 予選2回戦  
12:00～12:40 昼食休憩（剣道場） 11:30～12:10 昼食休憩（剣道場）  
12:40～13:40 予選3回戦 12:10～13:00 予選3回戦  
13:50～14:50 予選4回戦 13:10～14:00 予選4回戦  
15:00～16:00 決勝トーナメント1回戦 14:10～15:00 決勝トーナメント1回戦  
16:10～17:10 決勝トーナメント2回戦 15:10～16:00 決勝トーナメント2回戦  
16:10～17:00 決勝トーナメント3回戦

【交流会】

①指導対局	27日	10:00～12:00	茨城県武道館・剣道場
	27日	13:00～14:30	茨城県武道館・会議室
	27日	15:00～17:00	茨城県武道館・会議室
②交流対局	27日	15:30～17:00	茨城県武道館・会議室
③自由対局	27日	9:00～18:00	茨城県武道館・剣道場
④オセロ	27日	9:00～18:00	茨城県武道館・剣道場

【会議】

10:00～12:00 全国高文連将棋専門部会（茨城県武道館・会議室）

◎ **7月28日（月）**  
【競技進行】（30分切れ30秒）  
8:10～8:25 各部門表彰式〈5位まで〉（茨城県武道館・大道場）  
8:30～10:00 準決勝（茨城県武道館・大道場）  
10:10～11:40 決勝（茨城県武道館・会議室）  
12:30～13:00 閉会式（茨城県武道館・大道場）

【交流会】（大道場）

①指導対局	28日	9:00～11:30	茨城県武道館・大道場
②交流対局	28日	9:00～11:30	茨城県武道館・大道場
③自由対局	28日	8:30～11:30	茨城県武道館・大道場
④大盤解説	28日	10:00～12:00	茨城県武道館・大道場
⑤オセロ	28日	9:00～12:00	茨城県武道館・剣道場

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

【大盤解説会】（大道場）

10:00～12:00 解説 プロ棋士 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段  
聞き手 本田小百合 女流三段

- 4 昼食配付・・・27日・28日とも、昼食配付場所は玄関、食事場所は剣道場または大道場2階観覧席。昼食後、休憩可。  
【弁当配布時間】 1日目 11:00～13:00  
2日目 10:30～13:00 最終会場使用は14:00まで

5 会場詳細

内容		7月27日(日)	7月28日(月)
開・閉会式		大道場	大道場
競技	男子団体	大道場	大道場（準決勝） 会議室（決勝戦）
	女子団体		
	男子個人		
	女子個人		
交流会	指導対局	剣道場／会議室	大道場
	交流対局	会議室	
	自由対局	剣道場	
	大盤解説		
会議	専門部会	会議室	

●指導対局 【指導棋士】 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段、本田小百合 女流三段、  
梶浦 宏孝 三段、荒田 敏史 二段

●大盤解説 【解説】 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段  
【聞き手】 本田小百合 女流三段

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

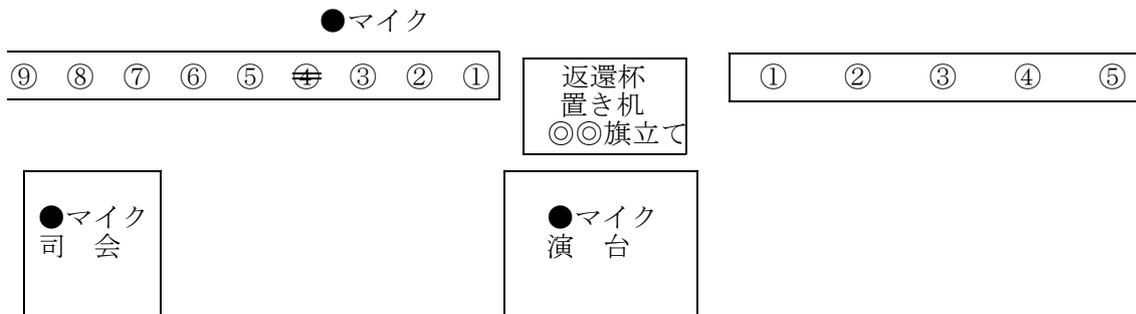
6 開会式次第

- ① 開会のことば (司会 並木中等教育学校 羽成 豪)
- ② 歓迎のことば (将棋部門生徒実行委員会委員長 水戸葵陵高等学校 佐藤 良賢)
- ③ あいさつ (高文連全国将棋専門部会長 佐々木清人)  
(日本将棋連盟理事 片上 大輔)  
(水戸市長 高橋靖)  
(茨城県実行委員会将棋部門委員長 生田目 正直)
- ④ 優勝杯返還 (男子団体 岩手県・岩手高等学校)  
(女子団体 愛知県・愛知工業大学名電高校)
- ⑤ 対局上の注意 (審判長 美馬和夫 日本将棋連盟茨城県支部連合会副幹事長・関東アマ名人)
- ⑥ 来賓紹介 (茨城県将棋部門部門代表委員 矢須 雅進)
- ⑦ 選手宣誓 (太田第一高等学校 上村 友大、土浦第一高等学校 岩堀 佳菜)
- ⑧ 閉会のことば (司会 並木中等教育学校 羽成 豪)

★開会式の舞台配置

- |                    |                                     |         |          |
|--------------------|-------------------------------------|---------|----------|
| ① 佐々木清人            | 高文連全国将棋専門部会長                        | ① 先崎 学  | 九段       |
| ② 片上 大輔            | 日本将棋連盟理事                            | ② 戸辺 誠  | 六段       |
| ③ 高橋 靖             | 水戸市長                                | ③ 本田小百合 | 女流三段     |
| <del>④ 本多 清峰</del> | <del>水戸市教育長</del>                   | ④ 梶浦 宏孝 | 三段 (奨励会) |
| ⑤ 寺井 久信            | 滋賀県将棋専門部会長                          | ⑤ 荒田 敏史 | 二段 (奨励会) |
| ⑥ 生田目 正直           | 茨城県実行委員会将棋部門委員長                     |         |          |
| ⑦ 美馬 和夫            | 大会審判長 日本将棋連盟茨城県<br>支部連合会副幹事長・関東アマ名人 |         |          |
| ⑧ 矢須 雅進            | 茨城県将棋部門部門代表委員                       |         |          |
| ⑨ 佐藤 良賢            | 将棋部門生徒実行委員会委員長                      |         |          |

大道場



第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

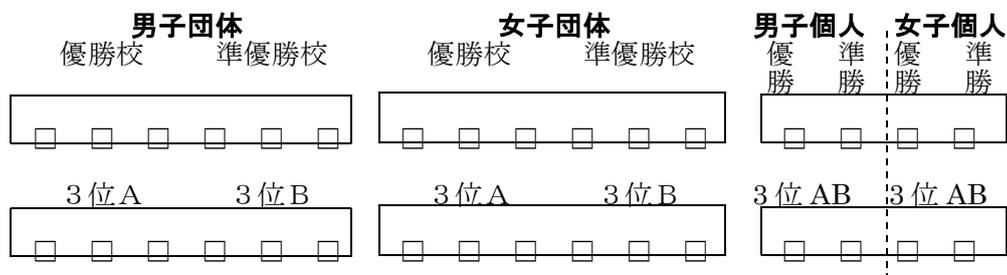
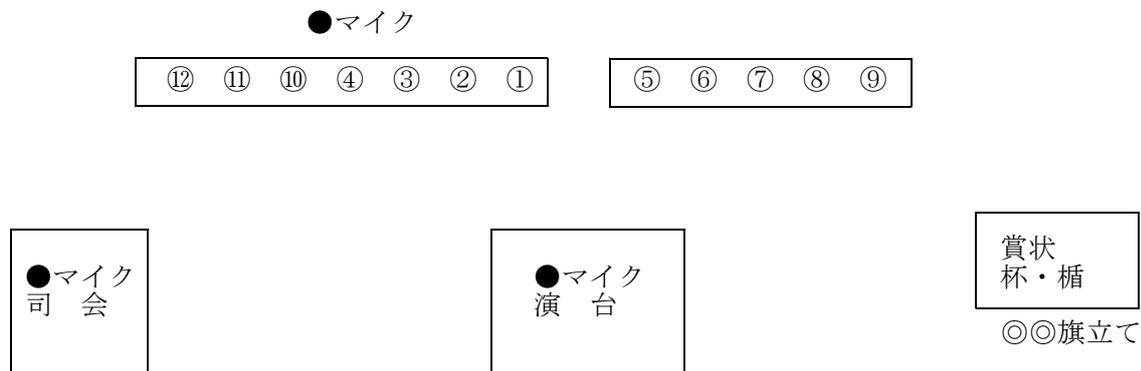
7 閉会式次第

- ① 開式のことば (司会 並木中等教育学校 羽成 豪)
- ② あいさつ (高文連全国将棋専門部会長 佐々木清人)  
(将棋部門茨城大会部会長 生田目 正直)
- ③ 成績発表 (茨城県将棋部門部門代表委員 矢須 雅進)
- ④ 表彰 (文化庁、高文連全国将棋専門部、日本将棋連盟)
- ⑤ 免状授与 (日本将棋連盟 戸辺 誠 六段)
- ⑥ 講評 (日本将棋連盟 先崎 学 九段)
- ⑦ あいさつ (次年度開催県・滋賀県高文連将棋専門部会長 寺井 久信)
- ⑧ お礼のことば (将棋部門生徒実行委員会委員長 水戸葵陵高等学校 佐藤 良賢)
- ⑨ 閉式のことば (司会 並木中等教育学校 羽成 豪)

閉会式の舞台配置（大道場）

- ① 文部科学省
- ② 佐々木清人 高文連全国将棋専門部会長
- ③ 寺井 久信 滋賀県将棋専門部会長
- ④ 生田目正直 茨城県実行委員会将棋部門委員長
- ⑤ 先崎 学 九段
- ⑥ 戸辺 誠 六段
- ⑦ 本田小百合 女流三段
- ⑧ 梶浦 宏孝 三段（奨励会）
- ⑨ 荒田 敏史 二段（奨励会）
- ⑩ 美馬 和夫 大会審判長
- ⑪ 矢須 雅進 茨城県将棋部門部門代表委員
- ⑫ 佐藤 良賢 将棋部門生徒実行委員会委員長

大道場



※便宜上、優勝者に敗れた3位を3位Aとする。

## 対局規定（抄）

- 1 「手合い、先手・後手の決定」  
全局平手戦にて行い、先後の決定は振り駒とする。団体戦は主将が振り、交互の先後となる。また団体戦は申し込み時の同将同士の対戦とする（オーダーは変更できない）。
- 2 「対局時計」  
対局には対局時計を用い、その位置は後手が決めることができる。時計は指した手で押さなければならない。チェスクロックを逆の手で押した場合は、審判長の判断で失格となるときもある。
- 3 「持ち時間」  
準決勝・決勝は30分とし、使いきると1手30秒の秒読みとする。  
それ以外の対局は団体戦20分、個人戦15分とし、使いきると1手30秒の秒読みとする。
- 4 「反則」  
対局相手に以下の行為があった場合、反則勝ちとなる。該当者は時計を止め、すみやかに審判長に申し出ること（対局者以外は反則を指摘しないようにしてください）
  - (1) 対局開始後、遅刻者の時間が切れる遅刻。
  - (2) 対局中、対戦相手以外の助言、批評を受けること。
  - (3) 禁じ手（二歩、打歩詰め、行き所のない駒、成れない駒の成りなど）
  - (4) 二手連続の着手。
  - (5) 待った（駒から手を離したら、着手を変更できない）反則の指摘は対局者のみが行うことができる（観戦者はしてはいけない）。反則を指摘しない場合は、反則とはならない。反則の指摘は指した直後でなくとも、盤面に残っている場合は行うことができる。投了後の反則の指摘は認めない（投了の優先）。
- 5 「千日手」  
同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判長に申し出ること。同じ対局で2回以上千日手となった場合は以下のように対処する。
  - 1回目：残り時間はそのまま先後を交代して指す。
  - 2回目：抽選により、勝敗を決める。抽選方法は審判長に一任する。
- 6 「持将棋と判定の時期」  
双方入玉模様となった場合、審判長の判定で持将棋が成立する。27点法（大駒5点、小駒1点）で、ポイントの多い方を勝ちとする。ただし、同点の場合は後手番の勝とする。また、双方入玉模様となっていなくても、対戦時間が著しく経過した場合、審判長は勝負の判定をすることができる。
- 7 「マナー」  
以下の行為は慎み、正々堂々と対局すること。
  - (1) 対戦相手や対局所の迷惑となるような行為。
  - (2) 対局場内で騒がしくすること。
- 8 「その他」  
問題が生じた場合は、時計の中断ボタンを押し、すみやかに審判員に申し出て審判長に一任すること。
- 9 審判員の役割
  - (1) 対局者から反則の指摘があったとき立ち会う。
  - (2) マナーの悪い生徒（チェスクロックの逆手押し等）を注意し、是正されない場合は、反則負け等の処置をとる。
  - (3) 持将棋と千日手の判定。
  - (4) その他、トラブルへの対応

## スイス式トーナメント方式について

今大会においては、スイス式プログラムを用いて、対戦組み合わせ・成績算出などを行う。

### 1 基本原則

- ・選手番号は、すべて責任抽選とする。
- ・原則として、同じ成績の者同士で組み合わせる。原則通り組み合わせができないとき（同じ成績の者の総数が奇数の場合など）は、できるだけ近い成績の者同士で組み合わせる。
- ・全参加者が奇数の場合は、bye（不戦勝）選手を決める。
- ・どの組み合わせも一回限りで、同じ相手と二度以上対戦することはない。
- ・原則として、同じ成績の者のグループを上下に分け、各グループ同士で無作為抽選で対戦相手を決める。  
※初戦は、以下の例のように抽選番号で対戦相手を決める。  
(例) 選手番号が1～98番のとき、初戦は  
1－50、2－51、・・・、48－97、49－98 のように対局
- ・同県対決については、予選リーグにおいては避ける。決勝トーナメントにおいては考慮しない。

### 2 タイブ레이크

順位については、まず勝ち点が多い者を上位とする。

タイブ레이크（同じ勝ち点）になったときには、以下のような優先順位で順位を決定する。

#### 個人戦

- ①ブックホルツBuchholz———対戦相手の勝ち点の総和
- ②バーガー Berger———勝った相手の勝ち点の総和
- ③メディアンMedian Buchholz———対戦相手の成績上下を引いた残り2つの勝ち点の総和
- ④プログレスProgress———各回戦の勝ち点の総和
- ⑤抽選

#### 団体戦

- ①ブックホルツBuchholz ②バーガーBerger ③メディアンMedian Buchholz
- ④勝ち数の総和（H20年度 第2回全国専門部会で①→④へ改定）
- ⑤プログレスProgress ⑥抽選

### 3 決勝トーナメントの対戦方式

- ・予選リーグで3勝以上あげた個人選手、団体戦チームは決勝トーナメントに進出することができる。
- ・決勝トーナメントの対戦相手は以下のように決める。

[例] 16代表が決勝トーナメント進出のとき

- 1回戦 A：1位—16位、B：2位—15位、C：3位—14位…  
…、F：6位—11位、G：7位—10位、H：8位—9位
- 2回戦 I：Aの勝者—Hの勝者、J：Bの勝者—Gの勝者  
K：Cの勝者—Fの勝者、L：Dの勝者—Eの勝者
- 準決勝 M：Iの勝者—Lの勝者、N：Jの勝者—Kの勝者
- 決勝 O：Mの勝者—Nの勝者

- ・1回戦の対戦相手がいない場合は不戦勝とする。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

# 出場者名簿

## 男子団体戦名簿

番号	都道府県	高等学校名	主将	学年	副将	学年	三将	学年
1	北海道	札幌光星高等学校	郡 宏翔	3	高山 優希	1	川合 祐貴	1
2	青森県	青森県立青森東高等学校	蛭名 新	3	江藤 仁太	3	宮越 大典	1
3	岩手県	岩手高等学校	川又 祐斗	3	川井 郁弥	2	山口 大成	3
4	岩手県	岩手県立一関第一高等学校	湊 隆文	3	村川 駿介	2	浅利 健史	3
5	宮城県	宮城県白石高等学校	高橋 憲章	2	日下 遼太	3	佐藤 大樹	2
6	秋田県	秋田県立秋田高等学校	田畑 貴樹	3	高橋 誠	3	伊藤 成	1
7	山形県	山形県立山形東高等学校	武田 一馬	3	松尾 凱	3	奥山 雄介	2
8	福島県	福島県立福島高等学校	駒林 寛己	3	荻野 哲史	2	佐久間 慶介	3
9	茨城県	江戸川学園取手高等学校	藤巻 智行	2	鎌田 涼雅	1	館野 龍平	2
10	栃木県	文星芸術大学附属高等学校	原田 拓	2	岡本 一仁	2	福田 雄太	1
11	群馬県	群馬県立前橋高等学校	伊井 達哉	3	花岡 徹思	2	清水 直哉	1
12	埼玉県	埼玉県立浦和高等学校	石橋 舜	3	北脇 駿	3	嶋村 寧人	2
13	千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	奥村 匠	3	西田 悠太	3	上島 司	3
14	東京都	開成高等学校	樋口 昌也	2	谷口 貴紀	2	三木 大知	2
15	神奈川県	浅野高等学校	小川 誠也	1	立野 時康	1	中山 脩彬	2
16	山梨県	山梨学院大学附属高校	竹内 広也	1	俵 宏輔	2	竹内 大地	1
17	新潟県	新潟明訓高等学校	杵 鞭 慶	2	磯野 泰輔	3	平 悠太	2
18	富山県	富山県立富山中部高等学校	荒木 優太郎	1	野口 裕太郎	3	平岡 大河	3
19	石川県	石川県立小松高等学校	中田 隆介	3	畑 昂志	3	竹内 恒平	3
20	福井県	福井工業高等専門学校	中山 玲司	3	奥田 真史	1	小田 樹也	2
21	長野県	長野県伊那北高等学校	野澤 聖幸	3	高木 涼太	3	片桐 壮太郎	3
22	岐阜県	岐阜県立可児高等学校	新田 健一郎	3	今井 翔	3	市原 慎太郎	3
23	静岡県	日本大学三島高等学校	喜多 正太郎	3	征矢 寛汰	1	金井 天馬	3
24	愛知県	愛知県立瑞陵高等学校	黒川 和樹	3	新美 湧一朗	1	山崎 祐哉	2
25	三重県	高田高等学校	黒瀬 大輝	3	臼井 遼介	3	大河内 真哉	3
26	滋賀県	光泉高等学校	大平 強	3	草川 鋭一	2	宇野 恭平	2
27	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	出口 鷹也	2	大崎 修平	1	近藤 拓海	1
28	大阪府	高槻高等学校	佐々木 裕也	2	武田 大範	2	岡本 和己	3
29	兵庫県	灘高等学校	武内 祐哉	1	今井 悠斗	3	武縄 真和	3
30	奈良県	西大和学園高等学校	春名 裕貴	2	大森 和真	2	米澤 卓哉	2
31	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	上 宗馬	3	國友 亮佑	2	藪本 宙	2
32	鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	増田 共祐	2	田口 智博	2	朴木 憲史	3
33	島根県	島根県立松江北高等学校	長山 海澄	3	角田 希	1	來海 裕晃	1
34	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	岡 省吾	2	水口 優	3	角田 裕哉	2
35	広島県	修道高等学校	森田 啓大	3	山本 大樹	3	植野 晶	2
36	山口県	山口県立防府高等学校	松永 平賢	3	窪 健太	3	宮崎 真洋	2
37	徳島県	徳島市立高等学校	吉川 智也	2	尾本 幸毅	3	桑山 悠一	1
38	香川県	香川県立丸亀高等学校	圖子 諒太	3	竹本 朋樹	2	中田 瑛祐	1
39	愛媛県	新田高等学校	牟田口 群英	2	中村 幸佑	1	土居 雅彦	2
40	高知県	土佐塾高等学校	光本 航大	2	中津 健志	3	本村 海渡	2
41	福岡県	久留米大学附設高等学校	香月 郁文	3	松本 龍弥	3	野田 尚希	2
42	佐賀県	佐賀県立伊万里高等学校	岩政 健太郎	2	池田 昂	2	富永 泰志	3
43	長崎県	青雲高等学校	吉原 龍	1	横井 晴土	1	白石 祐太	1
44	熊本県	熊本県立玉名工業高等学校	濱崎 幸也	2	土井口 貴章	3	二宮 弘斗	2
45	大分県	大分県立大分豊府高等学校	秦 義貴	3	有田 双葉	1	中村 彰展	3
46	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	松山 和暉	1	井戸崎 慎	1	黒木 航太	1
47	鹿児島県	鹿児島県立鶴丸高等学校	大角 浩太郎	3	宮屋敷 駿平	2	岩下 貴利人	2
48	沖縄県	興南高等学校	泊口 涼雅	3	喜久山 勝一	3	浦崎 航	1

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

女子団体戦名簿

番号	都道府県	高等学校名	主将	学年	副将	学年	三将	学年
1	北海道	北海道函館中部高等学校	荒木 真子	2	松谷 香奈	2	池田 にこ	2
2	青森県	青森県立青森東高等学校	大澤 桃子	1	蝦名 美織	1	齊藤 真夕	1
3	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	工藤 清香	2	及川 茉莉奈	1	齋藤 英恵	3
4	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	工藤 成穂	2	今野 遥香	2	眞壁 春香	2
5	茨城県	茨城県立鹿島高等学校	笠野 里緒	2	笠井 玲奈	2	保立 祐希	2
6	群馬県	群馬県立富岡東高等学校	滝上 睦子	3	高橋 瑠奈	3	田中 絵梨	3
7	埼玉県	西武学園文理高等学校	橋本 智佳子	1	北田 未来	1	中村 歩実	1
8	千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	伊藤 由衣	3	竹内 万葉詩	3	藤原 雅子	2
9	神奈川県	東海大学付属相模高等学校	柿島 菜里	3	三杉 春菜	3	林 美咲	3
10	山梨県	山梨県立上野原高校	佐々木 菜奈	1	秋山 真聖	1	工藤 真悠	1
11	新潟県	新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	貝沼 優佳	5	今井 優花	5	坂井 美穂	5
12	石川県	石川県立小松高等学校	淵川 琴美	3	臼井 亜優	3	中村 まゆ帆	1
13	長野県	長野県野沢北高等学校	竹花 和	2	田中 聖愛	2	山崎 麻純	2
14	岐阜県	富田高等学校	三浦 さち	2	平光 ひなた	2	藤井 扇	2
15	静岡県	藤枝明誠高等学校	井口 真希	3	中島 伶奈	3	荒浪 双葉	3
16	愛知県	愛知工業大学名電高等学校	遠山 侑里	3	横山 真子	1	水野 葵	2
17	愛知県	南山高等学校女子部	稲吉 恵	1	岩崎 絢子	3	永野 里奈	2
18	三重県	高田高等学校	山路 友梨佳	2	岡 菜々美	3	坂本 瑞稀	2
19	滋賀県	滋賀県立湖南農業高等学校	高橋 真美	2	安食 葉理	3	丸山 愛美	3
20	京都府	京都府立西舞鶴高等学校	梅原 爽加	1	石井 沙知	3	山中 古都乃	3
21	大阪府	近畿大学附属高等学校	吉永 七虹	2	松岡 めぐみ	1	高橋 優子	2
22	兵庫県	兵庫県立御影高等学校	大川 美優	2	阿部 睦	1	藤岡 祐衣	1
23	奈良県	奈良学園高等学校	安田 由利子	2	植田 ひかり	2	近藤 彩香	2
24	鳥取県	鳥取県立境港総合技術高等学校	安倍 晴愛	3	景山 絵莉花	3	鶴谷 真希	1
25	岡山県	岡山県立備前緑陽高等学校	清水 莉花	3	尾崎 美樹	3	坂東 沙貴	3
26	広島県	広島県立神辺旭高等学校	橋本 侑紀	3	向井 彩乃	3	塚 理萌	2
27	山口県	山口県立徳山高等学校	細瀬 摩利	1	河村 莉奈	2	関岡 奈々	2
28	香川県	香川県立香川中央高等学校	山崎 陽菜	2	濱松 歩生	1	西原 歩祐翔	1
29	愛媛県	愛媛県立新居浜西高等学校	国村 彩香	3	高橋 桃子	3	尾藤 真弓	3
30	高知県	高知県立須崎高等学校	高橋 侑里	2	高橋 実里	2	小野 亜由香	2
31	福岡県	福岡県立青豊高等学校	碓井 友菜	2	安枝 恵里	3	村上 明日香	2
32	熊本県	熊本県立熊本高等学校	土肥 夢花	3	谷崎 愛永	3	本田 あかり	3
33	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	渡辺 まどか	3	井村 友美	3	藤本 恵里奈	3
34	宮崎県	学校法人旭進学園 宮崎第一高等学校	平原 美咲	3	長友 瑠菜	3	松山 千紘	3
35	鹿児島県	鹿児島県立財部高等学校	川路 彩乃	2	坂元 佑衣	2	小園 なつみ	2

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

男子個人戦名簿

番号	都道府県名	男子個人	名前	学年
1	北海道	北海道高等学校	阿部 拓海	3
2	北海道	北海道網走南ヶ丘高等学校	武村 怜	3
3	青森県	青森県立青森高等学校	相坂 啓太	1
4	青森県	青森県立八戸高等学校	出町 元大	1
5	岩手県	岩手県立釜石高等学校	小山 真央	2
6	岩手県	岩手高等学校	久慈 透也	2
7	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	阿部 駿弥	3
8	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	渡邊 剛史	2
9	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	新斗米 創	1
10	秋田県	秋田工業高等専門学校	齋藤 裕史	3
11	山形県	山形県立鶴岡南高等学校	本間 瑞生	3
12	山形県	山形県立山形東高等学校	森田 一輝	3
13	福島県	いわき秀英高等学校	在原 駆	2
14	福島県	福島県立磐城高等学校	五十嵐 丈大	2
15	茨城県	茨城県立太田第一高等学校	上村 友大	1
16	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	三村 廉	1
17	茨城県	翔洋学園高等学校	山崎 英幸	2
18	茨城県	茨城県立牛久栄進高等学校	中谷 祥也	3
19	栃木県	栃木県立宇都宮北高等学校	中里 亮周	2
20	栃木県	國學院大學栃木高等学校	中山 智喜	2
21	群馬県	群馬県立富岡高等学校	山口 翔悟	1
22	群馬県	群馬県立沼田高等学校	木内 滉希	3
23	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	金井 孝之	3
24	埼玉県	埼玉県立春日部高等学校	安井 俊勝	1
25	千葉県	千葉県立八千代東高等学校	佐藤 僚介	1
26	千葉県	東京学館浦安高等学校	武田 竜治	3
27	東京都	武蔵高等学校	大野 弘喜	2
28	東京都	麻布高等学校	日高 啓道	2
29	神奈川県	横浜創英 中学・高等学校	錢本 幹生	3
30	神奈川県	法政大学第二中・高等学校	池田 大一勢	3
31	山梨県	山梨県立都留高校	河村 優一郎	3
32	山梨県	山梨県立甲府西高校	岩下 裕弥	1
33	新潟県	新潟県立新潟商業高等学校	佐伯 駿介	2
34	新潟県	敬和学園高等学校	齋京 悟郎	2
35	富山県	国立富山高等専門学校(本郷キャンパス)	湊 開誠	3
36	富山県	国立富山高等専門学校(本郷キャンパス)	能村 省吾	3
37	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	田中 勇貴	2
38	石川県	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	清水 隆史	2
39	福井県	北陸高等学校	西澤 佑亮	3
40	福井県	福井県立大野高等学校	柳原 政人	3
41	長野県	長野県松本深志高等学校	寺澤 凌	1
42	長野県	長野県豊科高等学校	布山 慎吾	3
43	岐阜県	岐阜聖徳学園高等学校	井筒 章浩	3
44	岐阜県	岐阜県立加茂高等学校	中島 灯希	1
45	静岡県	静岡学園高等学校	土切 勝滋	1
46	静岡県	藤枝明誠高等学校	西川 洸佑	2
47	愛知県	愛知県立明和高等学校	竹川 和	2
48	愛知県	南山高等学校男子部	三輪 宏樹	1

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

男子個人戦名簿

番号	都道府県名	男子個人	名前	学年
49	三重県	三重高等学校	谷口 慶至	2
50	三重県	三重県立上野高等学校	藤原 聖士	3
51	滋賀県	立命館守山高等学校	湯淺 夏斗	2
52	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校	山尾 ジキソン	3
53	京都府	京都教育大学附属高等学校	本川 卓佐	1
54	京都府	京都教育大学附属高等学校	小林 巧実	3
55	大阪府	大阪学芸高等学校	清水 航	2
56	大阪府	長尾谷高等学校	千種 玲央	3
57	兵庫県	甲南高等学校	長森 優作	3
58	兵庫県	兵庫県立加古川東高等学校	鍋谷 太郎	1
59	兵庫県	甲南高等学校	金川 和樹	2
60	奈良県	智辯学園高等学校	岩崎 凌大	2
61	奈良県	東大寺学園高等学校	山脇 淳之介	2
62	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	田和 醇也	2
63	和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	坂本 拓己	1
64	鳥取県	米子松蔭高等学校	橋寄 卓万	1
65	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	後藤 辰徳	2
66	島根県	島根県立松江南高等学校	中原 怜	3
67	島根県	松江工業高等専門学校	古藤 雅史	3
68	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	小林 達哉	2
69	岡山県	岡山県立倉敷青陵高等学校	村上 郁斗	3
70	広島県	広島県立福山誠之館高等学校	藤井 規之	3
71	広島県	広島大学附属高等学校	石井 紀彦	3
72	山口県	学校法人鴻城義塾 宇部鴻城高等学校	中堀 卓哉	2
73	山口県	山口県立下関西高等学校	久保中 亮翔	2
74	徳島県	徳島県立城南高等学校	中村 元紀	3
75	徳島県	徳島県立小松島高等学校	木村 卓哉	3
76	香川県	香川県立高松西高等学校	神高 幸弘	2
77	香川県	香川県立農業経営高等学校	弘内 奏楽	1
78	愛媛県	愛媛県立松山中央高等学校	佐々木 康介	3
79	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校	辻 健太郎	5
80	高知県	高知県立中村高等学校	岩瀬 晃人	2
81	高知県	高知県立高知工業高等学校	中久保 太紳	2
82	福岡県	福岡県立福岡中央高等学校	富永 祐之介	2
83	福岡県	福岡県立東筑高等学校	有吉 和範	3
84	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	武富 有平	3
85	佐賀県	東明館高等学校	伊田 奎佑	3
86	長崎県	長崎県立佐世保工業高等学校	山口 賢人	1
87	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	有田 光佑	2
88	熊本県	熊本県立熊本高等学校	白井 竜太	1
89	熊本県	真和高等学校	奥田 将広	3
90	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	古城 直人	3
91	大分県	大分工業高等専門学校	岩尾 啓太	3
92	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	時任 太那	1
93	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	市平 春樹	3
94	鹿児島県	ラ・サール高等学校	岡田 史彦	2
95	鹿児島県	鹿児島市立鹿児島商業高等学校	吉迫 敦哉	3
96	沖縄県	沖縄県立浦添工業高等学校	喜久川 聖弥	3
97	沖縄県	沖縄県立普天間高等学校	城間 永世	2

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

女子個人戦名簿

番号	都道府県名	女子個人	名前	学年
1	北海道	市立札幌大通高等学校	國岡 真由希	1
2	北海道	市立札幌大通高等学校	佐藤 希	2
3	青森県	青森県立青森南高等学校	吉田 葵	3
4	青森県	青森県立青森高等学校	吉岡 珠実	1
5	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	沼崎 悠華	2
6	岩手県	岩手県立盛岡工業高等学校	坂牛 円	3
7	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	熊谷 奏	3
8	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	邑松 友梨	2
9	秋田県	秋田県立大曲工業高等学校	伊藤 鈴穂	3
10	秋田県	秋田県立秋田高等学校	小棚木 花保	1
11	山形県	山形県立楯岡高等学校	相田 紗那	1
12	山形県	山形県立山形東高等学校	松田 梢	2
13	茨城県	茨城県立土浦第一高等学校	岩堀 佳菜	2
14	茨城県	水戸葵陵高等学校	足立 美桜	3
15	茨城県	水戸葵陵高等学校	崔 恵仁	3
16	茨城県	茨城県立大洗高等学校	佐々木 春香	1
17	群馬県	群馬県立渋川女子高等学校	新藤 春実	1
18	群馬県	群馬県立伊勢崎高等学校	白銀 里帆	3
19	埼玉県	埼玉県立和光高等学校	永井 さくら	1
20	埼玉県	埼玉県立上尾鷹の台高等学校	梅田 幸夏	3
21	千葉県	千葉県立千葉高等学校	加藤 寿美香	2
22	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	土居 佳南子	3
23	東京都	実践学園高等学校	頼本 奈菜	3
24	東京都	日本女子体育大学附属 二階堂高等学校	塚田 恵梨花	1
25	東京都	実践学園高等学校	小田切 葉月	3
26	神奈川県	横浜創学館高等学校	小澤 あざ美	3
27	神奈川県	横浜創英 中学・高等学校	秋山 美華	2
28	新潟県	新潟県立巻高等学校	眞田 美月	2
29	新潟県	新潟県立高田南城高等学校	池田 詩織	2
30	富山県	富山県立高岡西高等学校	浦上 莉穂	1
31	富山県	富山県立富山中部高等学校	清原 千雅子	3
32	石川県	星稜高等学校	松岡 静莉香	3
33	石川県	日本航空高等学校石川	表 幸花	3
34	福井県	福井県立金津高等学校	浅田 成美	3
35	福井県	福井県立金津高等学校	前川 晴奈	3
36	長野県	長野県伊那北高等学校	堀口 妙子	2
37	長野県	長野県伊那北高等学校	前田 はるひ	1
38	岐阜県	岐阜県立斐太高等学校	宮ノ腰 杏	3
39	岐阜県	岐阜県立大垣東高等学校	佐久間 琴子	2
40	静岡県	日本大学三島高等学校	小林 真優	3
41	静岡県	富士見高等学校	勝亦 梨帆	3
42	愛知県	愛知県立丹羽高等学校	中澤 沙耶	3
43	愛知県	愛知県立一宮南高等学校	脇田 菜々子	3

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

女子個人戦名簿

番号	都道府県名	女子個人	名前	学年
44	三重県	三重県立松阪高等学校	石川 珠妃	1
45	三重県	高田高等学校	鬼頭 あゆみ	3
46	滋賀県	滋賀県立虎姫高等学校	村上 祥代	3
47	京都府	立命館宇治高等学校	藤井 奈々	2
48	京都府	京都府立嵯峨野高等学校	小池 里奈	3
49	大阪府	大阪学芸高等学校	石本 さくら	1
50	大阪府	大阪府立河南高等学校	新道 理紗子	2
51	兵庫県	尼崎市立尼崎双星高等学校	松尾 千優	2
52	兵庫県	兵庫県立星陵高等学校	勝浦 麻理香	3
53	奈良県	奈良女子大学附属中等教育学校	西尾 美都	2
54	奈良県	奈良学園高等学校	安井 麻純	2
55	和歌山県	和歌山県立耐久高等学校	柳本 乃咲	2
56	和歌山県	和歌山県立海南高等学校	田中 茉衣子	2
57	鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校	谷野 茜	2
58	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	松本 幸佳	3
59	島根県	つくば開成高等学校 出雲学習センター	里見 咲紀	3
60	島根県	島根県立益田高等学校	村上 円	3
61	岡山県	岡山県立岡山芳泉高等学校	難波 遥香	1
62	岡山県	岡山龍谷高等学校	中川 実紅	1
63	広島県	広島県立三次高等学校	永田 美祐	2
64	広島県	広島なぎさ高等学校	山田 桃	3
65	山口県	山口県立下松高等学校	佐世 奈緒子	3
66	山口県	山口県立下松高等学校	高村 麻衣	2
67	徳島県	徳島県立小松島高等学校	高倉 南実	2
68	徳島県	徳島県立川島高等学校	月岡 美紀	1
69	愛媛県	済美平成中等教育学校	牟田口 環美	4
70	愛媛県	済美高等学校	中野 実歌子	1
71	高知県	高知県立高知丸の内高等学校	松岡 碧	2
72	高知県	高知県立高知追手前高等学校	山崎 愛美	3
73	福岡県	福岡県立東筑高等学校	高橋 佳子	2
74	福岡県	福岡県立東筑高等学校	金子 めぐみ	3
75	熊本県	尚綱高等学校	後藤 亜也子	3
76	熊本県	尚綱高等学校	上古閑 有加	3
77	大分県	大分県立大分南高等学校	玉田 理咲	3
78	大分県	大分県立大分雄城台高等学校	安西 里奈	3
79	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校	小窪 佑那	2
80	宮崎県	宮崎県立日南振徳高等学校	森 千沙都	2
81	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	三井 唯奈	1
82	鹿児島県	鹿児島情報高等学校	河野 かなえ	1
83	沖縄県	沖縄県立糸満高等学校	小野 理恵	3
84	沖縄県	沖縄県立首里高等学校	城間 未来	3

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

## 要員とスケジュール

役割分担(主業務)	教諭数	教諭氏名	所属	生徒数	生徒氏名	所属	26日	27日	28日	
部会長	1	生田目正直	高萩清松							
支援校代表	1	中村 孝子	水戸商業							
将棋部会代表	1	矢須雅進	石岡一							
競技	競技主任	1	藤崎正輝	大洗	講師(採譜)	審判長:美馬和夫 審判:市野塚耕三 審判:川嶋長一郎 審判:鴨志田稔 審判:加藤嘉三 審判:浜真之 審判:田村健一		◎	◎	
	審判		藤崎正輝	大洗				◎	◎	◎
					採譜補助	山崎 英幸 辻 聡智 吉岡 允貴 会沢 直樹	翔洋学園 竜ヶ崎一 日大中等 茨城			●
	男子団体	2	幕内研司 青木睦人	土浦一 日立一	7	松尾 祐樹 山崎 広大 佐藤 修平 椎名 真吾 菅藤剛 森川達也 前田直人	土浦一 土浦一 土浦一 土浦一 日立一 日立一 日立一	● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ●
	男子個人		荒井豊水 吉田真弘	竜ヶ崎一 竜ヶ崎一		7	橋本航 鈴木敦也 小林京平 木下天暁 高沼昂史 福田翔 大東純	緑岡 緑岡 緑岡 水戸一 水戸一 水戸一 水戸一	● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ●
	女子団体	2	前川匡史 大山雅道	鹿島 水戸一	8		大川 友輝 内田 大輔 梅津 雄真 白鳥 友貴 埜 琉弥 皆川哲彦 長谷川博紀 嶋崎晴也	鹿島 鹿島 鹿島 鹿島 鹿島 水戸一 水戸一 水戸一	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●
	女子個人		今井健二 小沼恵 堀江信人	水戸葵陵 水戸葵陵 太田一		8	加藤 大樹 八重樫 邦彦 小林 美咲 菅谷 莉奈 山田 京果 桐原 怜央 嶋田 宇宙 藤崎 詩織	水戸葵陵 水戸葵陵 水戸葵陵 水戸葵陵 水戸葵陵 水戸葵陵 水戸葵陵 水戸葵陵	● ● ● ● ● ● ● ●	● ● ● ● ● ● ● ●
	会場作成		藤崎正輝 堀江信人 矢須雅進	大洗 太田一 石岡一						
	機材設置		矢須雅進 幕内研司 荒井豊水 前川匡史 今井健二	石岡一 土浦一 竜ヶ崎一 鹿島 水戸葵陵						
	庶務・防災	庶務主任	矢須雅進 原健一 中村秀子 大津昌行 佐々木一二	石岡一 茨城 日立商業 海洋 土浦日大中等		吉岡 允貴 永田 大翔 山崎 晃典 岡田 凌汰 岡澤 佳寛 大和田 章文 市原 裕基 三浦 猛 軍司 龍哉 勝呂 凱 佐倉 拓歩	日大中等 日大中等 日大中等 土浦日大 土浦日大 土浦日大 海洋 海洋 海洋 竜ヶ崎一 竜ヶ崎一	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		



第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

支援校(水戸商業高校)要員

2014/7/26	教員	6	関根 信夫	白井 克昌	橋本 紀男
			鶴田 英俊	貴志 久美	荒井 智則
	生徒	40	根本 優梨	永山 莉帆	平池 優早紀
			細谷 優乃	東峯 千佳	栗田 佳苗
			岡崎 美希	早瀬 梨南	小沼 弥生
			諸川 真優	佐藤 萌花	羽生 華
			藤松 ちはる	伊藤 優花	小川 円香
			根本 愛美	上田 志保	川上 汀紗
			薄井 奈々	熊倉 望	飯田 麗奈
			大塩 梨紗	石井 千帆	井上 彩香
			木名瀬 翼	内堀 陽介	安島 一輝
			山本 朱里	菊地 七虹	伊與 桜子
			長岐 結衣	佐野 芳幸	吉田 海都
			若菜 凌大	岸 海直	小林 颯花
			進藤 壮人	高橋 良太	中庭 ゆい
	山口 和也				
2014/7/27	教員	6	中村 孝子	白井 克昌	橋本 紀男
			鶴田 英俊	貴志 久美	荒井 智則
	生徒	12	安島 一輝	山本 朱里	伊與 桜子
			長岐 結衣	佐野 芳幸	吉田 海都
			若菜 凌大	岸 海直	小林 颯花
	進藤 壮人	高橋 良太	山口 和也		
2014/7/28	教員	6	中村 孝子	大越 亜由美	青木 いずみ
			宮田 恵子	柴 裕市	吉原 理光
	生徒	12	栗原 麗奈	齋藤 茜	立花 依加子
			五十嵐 有香	栗田 沙耶	高安 茜里
			柳澤 茉莉	富田 菜月	本田 美依南
	家田 真央	海老澤 美幸	篠田 杏美		

## 分掌別業務

### 1. 競技・審判係・・・競技運営に関する業務を行う。・・・主任 藤崎正輝 教員 9名、生徒 34名(採譜を含む)

#### (1) 係分担

- ① **男子団体・・・主任:幕内研司(土浦第一高校), 青木睦人(日立第一高校)**
  - ・1日目 男子団体予選→団体決勝トーナメント ベスト4決めまで
  - ・2日目 準決勝・決勝、採譜
- ② **男子個人・・・主任:荒井豊水(竜ヶ崎第一高校), 吉田真弘(竜ヶ崎第一高校)**
  - ・1日目 男子個人予選→個人決勝トーナメント ベスト4決めまで
  - ・2日目 準決勝・決勝、採譜
- ③ **女子団体・・・主任:前川匡史(鹿島高校), 大山雅道(水戸第一高校)**
  - ・1日目 女子団体予選→個人決勝トーナメント ベスト4決めまで
  - ・2日目 準決勝・決勝、採譜
- ④ **女子個人・・・主任:今井健二(水戸葵陵高校), 小沼恵(水戸葵陵高校)・堀江信人(太田第一高校)**
  - ・1日目 女子個人予選→個人決勝トーナメント ベスト4決めまで
  - ・2日目 準決勝・決勝、採譜
- ⑤ **審判**・・・主任:藤崎正輝(大洗高校)  
審判の誘導と役割確認。適宜配置。競技係と協力して円滑な競技運営を図る。  
審判は1日目は大会審判、2日目は準決勝は審判、決勝は棋譜採譜を行う。
- ⑥ **会場作成・・・主任:藤崎正輝(大洗高校), 堀江信人(太田第一高校・囲碁部会事務局)、矢須雅進(石岡第一高校)**  
7/26は将棋用の会場を作成する。その際、囲碁部会事務局と相談し、7/29、7/30の総文祭囲碁大会のことを考えた養生シート敷きを行う。~~7/28は椅子を業者に返却するが、~~机は囲碁大会で継続使用なので囲碁部会事務局の要望を容れ、適切な位置に移動する。
- ⑦ **機材設置・・・主任:矢須雅進(石岡第一高校)・男女団体個人の主任4名**  
設置業者との打ち合わせと指示、確認。

#### (2) 前日の準備

- ① 座席の準備
  - ・ 配置図にしたがって、テーブルと椅子を並べる。
  - ・ 会議室(専門部会議)についても設営する。
- ② 用具のセット
  - ・ 盤、駒、時計をテーブルに置く。
  - ・ 駒の枚数が足りているか、確認する。
  - ・ 対局時計に電池を入れ、持時間をセットする。1日目の持時間は  
男女団体・・・20分、秒読み30秒  
男女個人・・・15分、秒読み30秒
- ③ 対局カード、対局場番号プレート、名札のセット
  - ・ テーブルに、対局カード(本人記録用)および鉛筆を置く。
  - ・ 対局場番号プレートをつくり、1回戦の組合せにしたがってテーブルにセットする。
- ④ 勝敗報告所の設営
  - ・ テーブル、椅子を並べ、必要な事務用品が揃っているか、確認する。  
※筆記用具、処理用パソコン、プロジェクタ、プリンタ、コピー機、マイク、印刷用紙(A4,B4,A3)
  - ・ 男子団体はブルー、男子個人はグリーン、女子団体はピンク、女子個人はイエローの用紙を用いて対局結果報告票を作成する。
- ⑤ 掲示板の設置
  - ・ 成績や次の対戦を示すための掲示板を、種目ごとに設置する。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

⑥ 機材の設置

- ・ パソコン、プロジェクター、スクリーン、プリンタ、マイクを種目ごとに1台ずつ、所定の場所にセットする。パソコンは各種目ごとに1台。集約用に1台。計5台で運用する。設置業者との打ち合わせを行う。
- ・ パソコンには「エクセル2010」と将棋ソフト「棋泉」「Kifu for Windows」をインストールしておく【業者が行う予定】。
- ・ スイス式トーナメントに関する設定もあらかじめ行っておく。

⑦ パソコン操作の練習

- ・ スイス式の運営に必要な操作を確認・練習しておく。
- ・ 結果の入力は生徒に任せてもよいが、ペアリング（組合せ）は担当教諭が行う。

(3) 大会1日目の業務

① 準備

- ・ 1局目の前に対局時計の時間設定を確認する。パソコン等の機材の設定を確認する。
- ・ 放送での着席を促す指示の後、速やかに選手の出席状況を確認する。

※矢須が開会式の中で、「対局カードの記入方法や結果の報告の仕方、次の対戦場所への移動（選手は対局カードを持って移動する）、アナウンスの方法、昼食の場所、専門部会の場所、ゴミの始末等」について説明する。

② 予選リーグ

- ・ 1. 対戦相手を投影、掲示する。
- ・ 2. 結果報告票を各テーブルに配布する。
- ・ 3. 放送で着席を促す。「スクリーンまたは掲示を見て、着席してください。」
- ・ 4. 初戦以外は、各種目の主任が、対局開始の合図をスクリーンでする。  
「着席して下さい」「振り駒して先後を決めて下さい」  
「対局を始めます。挨拶」
- ・ 5. 対局でのトラブルが生じたら、各種目の審判員に判断を仰ぐ。  
審判長 美馬和夫
  - ・ 男子団体に1人、男子個人に1人、女子団体に2人、女子個人に2人の審判が当たる。審判は美馬和夫、鴨志田稔、市野塚耕三、浜真之、加藤嘉三、田村健一の6氏とし、会場割り当ては当日決定する。また日本将棋連盟茨城県支部連合会の渉外として川嶋長一郎氏も来訪する。
- ・ 6. 対局終了後、両対局者（団体戦では両校の主将）が、記入した結果報告票を持って各種目本部に来るので受け取る。結果をパソコンに入力して、スクリーンに結果確認画面を表示。両対局者の確認を取る。結果報告票は本部で綴る。
- ・ 7. その回戦の全対戦が終了したら、  
「○回戦の対局が終わりました。勝敗が正しく表示されているか、スクリーンで確認してください」とアナウンス。結果確認画面を表示。  
「次の対局は○時○分からです。」と表示する。
- ・ 8. USBに保存し、データを**集約用パソコン（準備室で管理）**にコピーする。  
速やかに対戦を組み、2回戦の対戦画面を投影、掲示する。

- ・ 以下の各回戦も同様に進行する。
- ・ 2回戦終了後、3回戦終了後に中間成績を掲示する。（大道場）  
掲示するのは勝敗一覧のみ。順位表は4回戦終了後。
- ・ 4回戦の全対戦が終了したら、予選結果と決勝トーナメント表を掲示する。
- ・ 予選結果と決勝トーナメント表を印刷し、所定の場所に置く。
- ・ 決勝トーナメントで使用する机に対局場番号プレートを設置。不要となったプレートは片付ける。交流対局との境がわかるようにする。
- ・ 予選終了後、不要の駒・盤を片付ける。

③ 決勝トーナメント

- ・ 1日目の決勝トーナメントでは、バリケードは作らない。
- ・ 決勝トーナメントの座席は、トーナメント表に対局場番号で表示。  
テーブルに結果報告票を配布。
- ・ スクリーンには、常時決勝トーナメント表を表示しておき、結果が出るごとに勝ち上がりがわかるようにしていく。
- ・ 対局カードは各自で持って移動。
- ・ 対局でのトラブルが生じたら、各種目の審判員に判断を仰ぐ。

### 第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）

#### 第50回全国高等学校将棋選手権大会

審判長 美馬和夫

- 男子団体、男子個人、女子団体、女子個人にそれぞれ審判が当たる。審判は美馬和夫、鴨志田稔、市野塚耕三、加藤嘉三の4氏とし、会場割り当ては当日決定する。また日本将棋連盟茨城県支部連合会の渉外として川嶋長一郎も来訪する。棋譜採譜については鴨志田稔、市野塚耕三、加藤嘉三の3氏と前川匡史（鹿島高教諭）とする。
- ベスト4が決まったら、結果を印刷し所定の場所に置く。
- ベスト4の対局は大道場で明日8：30開始であり、5分前には着席完了であることを伝える。  
また、5位の表彰は明日8：10からこの場所で行われることを伝える（集合8:00）。茨城県専門部会長から賞状と盾を渡していただく。  
（筆耕係と連絡を取り合い5位が決定次第、賞状の名入れをしてもらう）

#### ④ 個人戦についての注意事項

- 予選通過者が32名を超えた場合の対応  
予選の段階から、できる限り進行を早める。  
予選通過者が33名、または34名の場合、32位と33位、31位と34位の対戦は0回戦とし、他のブロックの1回戦と同時に開始する。  
0回戦終了後すぐに1回戦を始め、回戦ごとに進行の遅れを少しずつ短くする。対戦可能な対局を優先して進める。

#### ⑤ 翌日の準備

- 大道場（準決勝）・会議室（決勝）の設営確認する。盤・駒・時計を並べる。全種目、持時間30分、秒読み30秒。また、大道場は明日8：10に5位表彰が行えるようにする。  
また、大道場は指導対局・交流対局・自由対局の会場となる。その設営を行う。不要な盤・駒・時計を片付ける。駒と時計は返却できるよう箱詰めにする。
- パソコン、プロジェクター等を所定の場所にセットする。対局の投影が行えるようにパソコンの「棋泉」には、準決勝出場者の氏名をあらかじめ登録しておく。

#### (4) 大会2日目の業務

##### ① 準備・確認

- 前日できなかった準備があれば行う。（バリケードを作る）
- 対局時計の設定、パソコン等の接続について確認する。

##### ② 準決勝

- 座席には結果報告票を配布。（決勝も同じ）
- 対局でのトラブルが生じたら、審判長に判断を仰ぐ（決勝も同じ）。
- 審判は、審判長 美馬和夫先生にしていただく。
- 対局が終了したら、決勝トーナメント表をスクリーンに投影する。また掲示のトーナメント表に朱書きで記入する。（印刷はしない）

##### ③ 決勝

- あらかじめ大道場に大盤が設置されていることを確認**
- 決勝戦用にテーブル・椅子等を並べ直す。
- 採譜対象・・・男女個人戦、男女団体戦の主将戦、合計4局。
- 採譜要員・・・各対局1名、計4名  
棋譜採譜は鴨志田稔、市野塚耕三、加藤嘉三、前川匡史の4氏とする。  
採譜要員は、先後が決まったら記録がとりやすい位置に移動する。  
それぞれ、補助（第二採譜者）を1人ずつ付ける。  
第二採譜者（補助採譜員候補）（採譜調査で可とした者）  
山崎英幸（翔洋学園）／辻 聡智（竜ヶ崎一）／  
吉岡允貴（土浦日大中等学校）／会沢直樹（茨城）  
※山崎は大会出場選手であるため準決勝に残ったら次候補を考える
- スクリーン投影  
・・・各種目で担当生徒を決め（目安5～10手）採譜要員から受け取った棋譜の写しを大道場のパソコンまでリレーする。  
大道場の担当生徒は、それを見て「棋泉」の指し手を進めてスクリーンに投影する。  
（このとき観客のため一手一手ゆっくり進める）
- 男子と女子の個人戦決勝は大盤解説があるので、男女個人戦の担当生徒は、大道場で棋譜の写しをコピーしてから大盤解説の大道場大盤解説場所にも届ける。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

- ・ 勝敗結果は、掲示の決勝トーナメント表に朱書きで記入。印刷し所定の場所に置く。

④大盤解説運営

- ・ 10:00～ 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段、本田小百合 女流三段を誘導
- ・ 大道場で行われている大盤解説の棋譜伝達をする（交流会係が少ないため移した）。

⑤ 後片付け

- ・ 決勝終了後、直ちに撤収に移る。（閉会式は大道場）
- ・ 駒は発送できるよう箱に詰める。保管場所は柔道場。
- ・ 時計は継続して囲碁部門が使用するため囲碁部門の指示に従い保管し（堀江教諭指示）、囲碁部門終了後に新人大会開催地（新潟県）に発送する。

2. 庶務・防犯防災係…受付、来賓対応、弁当配布、防犯防災に関する業務を行う。

…主任：矢須雅進（石岡第一高校）、

受付・防災巡回・マスコットキャラクタ管理・プリンター管理：矢須雅進（石岡第一高校）、原健一（茨城高校）、中村秀子（日立商業高校）・大津昌行（海洋高校）・佐々木一二（土浦日大中等教育学校）

昼食等確認：安齋隆（土浦日大高校）、出口洋一・八木清（清真高校）・中島徳高（東洋大牛久高校）

記録：小賀柳一（水城高校）、斧田波枝（緑岡高校）

接待：皆藤新一・水戸部幸雄（茨城高専）・鈴木康司（茨城高専・筆耕兼任）

会議：坂入勝雄（竹園高校）

教員 15名、生徒 29名

(1) 前日までの準備

① 受付配布物の準備

- ・ 名札の確認（枚数、誤字等）
- ・ 袋詰め作業

袋は、参加賞ビニール盤があるもの800個、ないもの150個の2種類を作る。

※ 選手用、引率または全国専門部会参加者用の袋は、参加賞ビニール盤があるものを配布する。

※ 袋の中身は、部門プログラム、文化連盟賞、参加賞ビニール盤、指導対局申し込み用紙、その他観光パンフ等（文化連盟賞〔賞状〕は第1局の対局座席に置く）

② 受付（玄関〈予定〉）の設置

- ・ テーブル、椅子の準備
- ・ 受付名簿、事務用品、掲示物、傘袋等の準備

③ 弁当配布所・昼食会場（大道場2階観覧席、剣道場）の設置。

配布用テーブル準備。※昼食をとる人は椅子のみ。各自で。

- ・ 休憩室（大道場2階観覧席）の設置。

(2) 受付

① 7/26日（土）大会前日の受付を武道館玄関前にて行う（14:00～16:00）。

② 7/27日（日）[大会1日目] 7:50～9:00～終日

- ・ 場所 茨城県武道館玄関

先生には名札を渡す。前日受付の先生にも取りに来てもらう。

選手以外の付き添い生徒には、白紙の名札を渡し各自で記入してもらう。

受付①…先生（引率先生・視察先生・全国専門部会参加先生）および生徒配布物を渡す。【地区別に受付を行う】

地区は、I北海道東北 II関東 III中部 IV近畿 V中国四国 VI九州

受付②…将棋連盟関係者・来賓・審判

受付③…報道関係・視察者・一般観戦者に対して受付を行う。

※ 9:00以降は受付をひとつに統一する。

終日受付として、途中から来られる一般観戦者等に対応する。

<将棋連盟関係（審判長・審判を含む）>

プロ棋士（先崎 学 九段、戸辺 誠 六段、本田小百合 女流三段、梶浦 宏孝 三段、荒田 敏史 二段）、片上 大輔 日本将棋連盟理事、磯辺丈敏 将棋連盟普及部、

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

日本将棋連盟茨城県支部連合会より派遣される審判（美馬和夫、鴨志田稔、市野塚耕三、浜真之、加藤嘉三、田村健一、川嶋長一郎）

→ 「日本将棋連盟」控え室の「**控室**」(大道場の奥)へ誘導、胸花を渡す

<来賓>

佐々木清人 高文連全国将棋専門部会長、高橋靖 水戸市長（要駐車場確保）、~~幸多清峰~~水戸市教育長、寺井久信 滋賀県高文連将棋専門部会長

→ 「来賓」控え室の「**予備室**」へ誘導、胸花を渡す。

<報道関係>

受付で名簿に記入してもらおう。独自の名札を着用していない場合は、名札に記入してもらい、着用してもらおう。配布物が入った袋を渡す。撮影に関する規定を書いた紙を渡す。

控え室は「**柔道指導員室**」「**剣道指導員室**」。

<視察者・一般観戦者>

受付で名簿および名札に記入してもらおう。配布物が入った袋を渡す。

③ 7/28日（月）[大会2日目]

- ・選手（準決勝進出者）は直接会場へ入る。
- ・時間・・・8:00～
- ・場所・・・茨城県武道館玄関  
前日と同様に終日受付として、途中から来られる一般観戦者等に対応する。

(3) 弁当・販売（引き渡し場所は武道館玄関）・接待

① 選手・引率への弁当・飲み物配布

- ・サポート室対応の弁当・飲み物配布、および規定時間内のゴミ回収は業者が行う。
- ・玄関前（予定）に配布・回収スペースを用意し、回収作業のみ行う。  
7/27（日）の配布時間は11:00～13:00、回収時間は11:00～14:00  
7/28（月）の配布時間は10:30～13:00、回収時間は11:00～14:00
- ・食事をとする場所は、両日とも、剣道場と大道場2階観覧席。大道場観覧席を基本とする。

② 要員への弁当・飲み物配布

- ・「要員控え場所」（教員スタッフ分は準備室、生徒スタッフ分は大道場2階の指定場所）に運んでおく。その場で飲食する。生徒は先生の指示に従い、交替で昼食をとる。
- ・当日のスタッフ代表への手渡し・規定時間内の最終的なゴミの回収は業者の仕事、個々のスタッフへの弁当手渡しはスタッフの仕事、食後の弁当箱を整理して回収業者がきちんと持って行けるための整理はスタッフの仕事となる。

③ 日本将棋連盟関係者への昼食・飲み物配布

- ・サポート室の物とは異なる。プロ棋士控え室（和室）に運んでおく。
- ・プロ棋士控え室の湯茶等は、切らさないように準備しておく（ペットボトル）。
- ・日本将棋連盟関係者の弁当【県内スタッフ弁当とは別のもの】  
→ 26日・不要/27日・7個/28日・6個（片上理事欠）
- ・日本将棋連盟茨城県支部連合会（審判5人）の弁当【県内スタッフ弁当とは別のもの】  
→ 26日・不要/27日・7個/28日・5個  
27日（美馬和夫、鴨志田稔、市野塚耕三、浜真之、加藤嘉三、田村健一、川嶋長一郎）  
28日（美馬和夫、鴨志田稔、市野塚耕三、加藤嘉三、川嶋長一郎）

④ トラベルセンターからの注意事項(スタッフ弁当請求書発送先：矢須雅進)

- ・お弁当のガラについては、トラベルセンターが指定する回収時間までに、必ず返却してください。
- ・回収時間に間に合わなかったガラについては、各部門で処分していただくこととなります。
- ・また、お弁当については、食中毒防止のため14時以降の配布は行いませんので、必ず、時間内に食べるようお願いいたします。
- ・トラベルセンター以外に発注するお弁当については、協賛又は会場等の関係から、トラベルセンター以外からお弁当を発注する場合は、各部会で手配及びガラの回収の徹底をお願いします。
- ・また、該当するお弁当について、県事務局から予算令達してある場合は、各部会で支払を対応し、また、予算令達していない場合は、請求書を速やかに県事務局あて提出願います。
- ・なお、トラベルセンターにお弁当を発注した場合同様、予算の枠を超えてしまった部分については、該当する部会に請求させていただきます。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

- (4) 防犯防災
- ・会場内の見回りをする。
  - ・来場者には必ず、受付をしてもらい、記名した名札を着用していない人には、受付をしてもらうよう促す。
- (5) マスコットキャラクターふれあちゃん着ぐるみ管理
- ・マスコットキャラクター「ふれあちゃん2号」の着ぐるみは美術工芸部門（土浦三高・富田教諭主管）が使用している。着ぐるみは県民文化センターを14：30に出て15：00に茨城県武道館に到着予定。受付で受付監督教員が受け取り、生徒（教諭）が着て、「ふれあちゃん2号」が入った集合写真を受付で撮影する。その後、「ふれあちゃん2号」は会場内を適宜巡回し、それを撮影する。全ての業務を終えたあと着ぐるみを受付に届け、遅くとも16：00には次に使用予定の演劇部門に引き渡す。演劇部門は15：30くらいには高橋教諭（東海高校）が受付に着ているので、可能な限り早く演劇部門に引き渡す。
  - ・マスコットキャラクターふれあちゃんに入れる体格は身長150～160cm。最大でも165cm。
- (6) プランター管理
- ・12：30に水戸農業高校を出発し、13：30に茨城県武道館玄関に到着予定。650×225×180サイズのものが50個おろされる。登録した担当者名は矢須。飾る場所は茨城県武道館玄関の外とする。期間中、最低限1日2度（朝夕）の水やりを行う。
- (7) 記録
- デジタルカメラ・デジタルビデオで大会の記録を行う。撮影が対局の妨げになってはいけない。フラッシュは使用禁止とする。ここで撮影したものは要請があった場合、教育関係の団体（教育委員会等）や、いばらき総文2014記録集、茨城県高文連将棋部会40周年記念誌を作成する部署に提供することがあり得る。
- ・デジタルビデオで撮影するもの
    - ①開会式…全てを流しで撮る。
    - ②5位表彰…全てを流しで撮る。
    - ③閉会式・表彰…全てを流しで撮る。
    - ④交流会…指導対局と交流対局を2～3分程度撮影。指導対局は5人とも画像に入れる。大盤解説は全てを流しで撮る。
    - ⑤茨城県選手…できれば全員の対局を一人あたり1～2分程度で撮影する。可能であれば着手の動きがあるものが望ましい。
  - ・デジタルカメラで撮影するもの
    - ①開会式…下記の撮影を行う  
ステージ上の全景、参加選手とステージ上が入った鳥瞰図、挨拶（全国会長、茨城会長等全員）を顔がわかる大きさとで撮影する。
    - ②5位表彰…表彰される全員が写ったものと、賞状授受の瞬間を撮影する。
    - ③閉会式・表彰…ステージ上の全景、参加選手とステージ上が入った鳥瞰図、挨拶（全国会長、茨城会長等全員）を顔がわかる大きさとで撮影する。
    - ④交流会…指導対局、交流対局、大盤解説を撮影する。指導対局は専門棋士5人とも全身が入った姿を撮影する。大盤解説は解説者と大盤が入った画像を撮影する。
    - ⑤茨城県選手…全員の対局を撮影する。茨城県選手の顔がはっきり分かるように心がける。理想としては、着手の瞬間の動きがある画像が望ましい。会場内での対局座席の位置によるが、ステージ上の全国大会看板を対局姿に入れられるときはそれを撮影できるように心がける。
    - ⑥会場内…受付風景、各種掲示物、看板を記録として撮影する。
    - ⑦決勝戦…茨城県選手であるか否かにかかわらず、男女個人団体4会場の双方の選手の顔が分かる画像を撮影する。
- (8) 会議
- 26日の主催者間会議と27日の全国専門部会議の資料配付等の補助業務を行う。
- (9) 業者との対応
- 現在、「あさ川製菓」が会場内にて総文祭の土産の販売を行う予定。対応は矢須。

### 3. 救護係…救護に関する業務を行う。

…主任 関根理恵子(日立工業高校・会計兼任), 菊池智子(大洗高校)  
常恒由美子(水戸商業高校・支援校養護), 小野敏子(水戸工業高校・支援校養護)  
教員 4名, 生徒 2名

大会前日の業務

- ・救護室の整備。畳、冷蔵庫等。
- ・全体準備の手伝いもお願いします。

大会当日の業務

- ・場所…医務室
- ・体調不良を訴える人がいたら、救護所に案内し、休んでもらう。  
※酸素吸入を必要とする者、車いすの者等がいるか？（7/21現在申請者なし）

### 4. 式典係…開会式、大盤解説、閉会式に関する業務を行う。

…主任 佐藤康(並木中等教育学校), 中郡久夫・原田正剛(太田第一高校),  
亀田拓(鹿島)  
教員 4名, 生徒 5名

#### (1) 前日の準備

- ① 開会式会場（大道場）および大盤解説、閉会式（大道場）の設営。
  - ・計画図にしたがって、各会場にステージの設置、テーブル、椅子、演台等の設置。
  - ・各会場に、マイク、音響等の設置、掲示物（バトンを使って）、確認。
  - ・大道場にパソコン、プリンタ、スクリーンの設置、確認。
  - ・大道場に大盤解説用の大盤設置。大盤解説終了後の後片付けも担当する。
- ② トロフィー、賞状等の確認
- ③ 準備ができ次第、開会式・閉会式のリハーサル（午後の予定）

#### (2) 開会式（9:00～9:30）

- ① 座席の指定
  - ・選手・来賓・審判以外は、2F観覧席で開会式に臨む。
  - ・岩手県・愛知県（優勝杯返還）、茨城県（選手宣誓）は前の方に席を用意する。
- ② 優勝旗・優勝杯
  - ・開会式開始前に、前年度優勝校に優勝旗・優勝杯を渡す。  
男子団体：岩手県・岩手高等学校 女子団体：愛知県・愛知工業大学名電高等学校
- ③ 進行（別項）
  - ・司会 茨城県立並木中等教育学校2年 羽成 豪（はなりごう）
  - ・歓迎の言葉 水戸葵陵高等学校2年 佐藤 良賢（さとうよしのり）
  - ・選手宣誓 太田第一高等学校1年 上村 友大（うえむらゆうだい）  
土浦第一高等学校2年 岩堀 佳菜（いわほりかな）
- ④ 開会式後、すぐに振り駒、対局開始。  
→対局開始後、来賓退席。テーブル・演台を撤去。種目別本部設営。

#### (3) 5位表彰

- ① 前日
  - ・5位入賞者の賞状を確認する。筆耕係担当教員と前日の内に打ち合わせをする。
- ② 座席の指定
  - ・5位入賞者の8名、8チームの座席を前日のうちに準備し、張り紙を貼す。
  - ・来賓席、トロフィー・賞状等を置くテーブル、旗置き、マイク、音響等の設置、を確認。

#### (4) 閉会式

- ① 座席の指定
  - ・3位以上入賞者32名の席に張り紙を貼す。
  - ・大道場では男女個人決勝の大盤解説が行われる。大盤解説終了後に張り紙を貼す。
  - ・来賓席、トロフィー・賞状等を置くテーブル、旗置き、マイク、音響等の設置、を確認。
- ② 進行（別項）
  - ・司会 茨城県立並木中等教育学校2年 羽成 豪
  - ・お礼の言葉 水戸葵陵高等学校3年 佐藤 良賢
- ③ 表彰の介添え
  - ・介添え員4名…表彰者へ賞状、トロフィー、楯等を渡す。  
（どれを誰に渡すのかを確認し、「B君が2位に渡す」というように固定する。）

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

(4) 賞状・副賞一覧

表彰一覧	文化庁関連			高等学校文化連盟関係						日本将棋連盟関係									
	文部科学大臣賞賞状	※文部科学大臣杯	文化庁長官賞賞状	高文連優勝賞状	高文連準優勝賞状	高文連第三位賞状	高文連第五位賞状	高文連第三位以上記念品	高文連第五位記念品	高校文化連盟賞賞状	日本将棋連盟優勝賞状	日本将棋連盟準優勝賞状	日本将棋連盟第三位賞状	※優勝旗	※優勝杯	優勝メダル	準優勝メダル	第三位メダル	段位免状
枚数・個数	4	2	4	4	4	8	16	16	16		4	4	8	2	4	8	8	16	4
男子団体	優勝(1校)	○	○		○				○		○			○	○	○			
	準優勝(1校)			○		○			○			○					○		
	第3位(2校)						○		○			○						○	
	第5位(4校)							○		○									
女子団体	優勝(1校)	○	○		○				○		○		○	○	○				
	準優勝(1校)			○		○			○			○					○		
	第3位(2校)						○		○			○						○	
	第5位(4校)							○		○									
男子個人	優勝(1名)	○			○				○		○			○	○				五段
	準優勝(1名)			○		○			○			○					○		四段
	第3位(2名)						○		○			○						○	
	第5位(4名)							○		○									
女子個人	優勝(1名)	○			○				○					○	○				二段
	準優勝(1名)			○		○			○								○		初段
	第3位(2名)						○		○			○						○	
	第5位(4名)							○		○									

※は持ち回り

5. 筆耕係・・・賞状の筆耕に関する業務を行う。・・・主任 鈴木康司(茨城高専) 教員 1名  
小川美華先生(太田一・書道), 市橋郁恵(大成女・書道)先生 2名

- ① 前日
  - ・賞状の確認。枚数の確認。ひな形の確認。
- ② 1日目
  - ・小川美華氏(書道)には、15:30頃来ていただき**準備室**に案内する。(受付係と連携)
  - ・賞状が80枚近くになるので、大会名など入れられるところはあらかじめ入れておいていただく。
  - ・ベスト8が決まり次第、賞状の名入れをお願いする。
  - ・5位が決定したら、順位も入れていただく。※
  - ・28日(月)8:10～ 賞状・副賞を全国将棋専門部佐々木会長より授与していただく。
- ② 2日目
  - ・書道の先生2人(小川T・市橋T)到着(9時00分〈予定〉)。(受付係と連携)
  - ・日本将棋連盟の賞状に名入れができれば(順位が記入していなければ)、していただく。
  - ・決勝トーナメント会場との連絡を密にし、順位が確定し次第、順位を入れていただく。
  - ・文部科学省の賞状は文面をよく読み、各賞状の区別をしっかりと確認する。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

※1日目が終了後、5位の賞状を完成させる。時刻が遅くなるので書家の先生と相談する。  
2日目の朝8：10に5位表彰式なので、前日には完成させたい。事故などで遅くなっても、20分前には遅くとも完成させる。

6. 交流会…指導対局および交流・自由対局に関する業務を行う。

…主任 増淵禎志(古河第三高校), 早川大祐(翔洋学園高校), 桑原昭之(江戸川学園取手), 鈴木純子(日立第一高校)  
教員 4名、生徒 7名

内容	7月27日(日)			7月28日(月)		
	指導対局	交流対局	自由対局	指導対局 棋士2名	交流対局	大盤解説 棋士3名
会場	剣道場/会議室	会議室	剣道場	大道場	大道場	大道場
時間	10:00-12:00		8:00	9:00 ~ 11:00	8:30 ~ 11:30	10:00 ~ 12:00
	13:00-14:30		~			
	15:00-17:00	15:30 ~17:00	17:00			
	棋士5名	棋士5名	(終日)			

28日【指導棋士】 梶浦 宏孝 三段、荒田 敏史 二段

【大盤解説】 解説 先崎 学 九段、戸辺 誠 六段、聞き手 本田小百合 女流三段

\*前日 7月26日(土)の業務

◎注)「会議室」「剣道場」の駒・盤は茨城県高文連のものを使用。  
「大道場」の駒・盤は高文連全国のものを使用。混同しないようにする。

1. 会議室の設営(別紙図)

<指導対局場>

- ・指導対局場(〈女流〉棋士5名×3~8面)の設営→指導数は棋士の判断を仰ぐ  
駒・盤 25組 長机 14 椅子 25 (女流は3面指し、棋士・奨励会は5~8面)
- ・受付の設営  
ホワイトボード、申込用紙、対局表、筆記具、長机2、椅子5
- ・指導対局希望者の待機場の案内
- ・お茶、紙コップの準備 棋士5人×2本 10本
- ・各種掲示物準備

<自由対局場>

- ・自由対局場の設営  
駒、盤 30組(予備5組) 長机 10 椅子 60
- ・各種掲示物準備

\*1日目 7月27日(日)の業務

1. 指導対局の運営

- ① 10:00~12:00 ⇒ 対局 〈女流〉棋士5名×3~8面(剣道場)
  - ② 13:00~14:30 ⇒ 対局 〈女流〉棋士5名×3~8面(会議室)
  - ③ 15:00~17:00 ⇒ 対局 〈女流〉棋士5名×3~8面(会議室)
- ・受付で申込者を適宜割り振り、対局棋士を決定し対局してもらう。
  - ・対局が終了したら、必ず受付に報告に来るよう指示しておく。
  - ・満席のときは、予約を受け付け、時間を見はからって対局してもらう。
  - ・お茶、紙コップの準備 棋士5人×2本 10本

2. 会場設営(指導対局場、交流対局場の設営)

- ・14:30に指導対局受付場(会議室)に全員集合する。
- ・予選リーグが終了後、速やかに全員で準備する。
- ・配置図に従って設営する。
- ・受付用具の準備。各種掲示物準備。
- ・余った机、椅子、駒、盤は片付ける。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

- ・全国高文連と、茨城県高文連の駒、盤が混じらないように片付ける。
- 3. 交流対局の運営（15：30～17：00）
  - ・15：30までに受付をしてもらう。（受付時間15:15～15:30）
  - ・上級、中級、初級の3班に分ける。どの級にするかは自己申告とする。  
上級（三段以上） 中級（1級～二段） 初級（2級以下）
  - ・対局表に名前を記入してもらい、準備ができれば対局を順次始めてもらう。  
6人一班のリーグ戦を行う。時間が来たら試合途中でも終了とする。
  - ・持ち時間は15分切れ負けとする。
  - ・交替で見守る。
  - ・開会式が終わった後の佐藤康教諭にアドバイザーとして入っていただく（副業務）。
- 4. 自由対局運営（9：00～18：00）
  - ・交替で見守る。基本的に将棋駒等棋具を置き、使ってもらっただけ。
- 5. 会場の片付け（17:00～）

**\* 2日目 7月28日（月）の業務**

1. 指導対局運営（9：00～11：00）
    - ・受付で申込者を適宜割り振り、対局棋士を決定し対局してもらう。
    - ・対局が終了したら、必ず受付に報告に来るよう指示しておく。
    - ・満席のときは、予約を受け付け、時間を見はからって対局してもらう。
    - ・お茶、紙コップの準備 棋士2人×1本
  2. 交流対局の運営（9：00～11：30）
    - ・9：00までに受付をしてもらう。（受付時間8:45～9:00）
    - ・上級、中級、初級の3班に分ける。どの級にするかは自己申告とする。  
上級（三段以上） 中級（1級～二段） 初級（2級以下）
    - ・対局表に名前を記入してもらい、準備ができれば対局を順次始めてもらう。  
6人一班のリーグ戦を行う。時間が来たら試合途中でも終了とする。
    - ・持ち時間は15分切れ負けとする。
    - ・交替で見守る。
  3. 片付け作業（全日程終了後）
- その他
1. 大盤解説の運営（日本将棋連盟関西本部から送られる大盤は7/26の昼に到着予定）
    - ・大盤が設置されていることの確認をする。
    - ・10：00～ 先崎学九段と戸辺誠六段、本田小百合女流三段の誘導をする。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

## 7. 開会式・5位表彰式・開会式シナリオ

### 1. 開会式進行表

次 第	発言者	内 容
		BGM（茨城総文テーマソング【未来〈そら〉へと続く道】）を流す
連絡事項 8:55	司会	まもなく開会式を開始致します。今大会を支えて下さいました来賓の方々がお入場されます。皆さま 拍手でお出迎えください。
	佐藤 良賢 茨城県生徒代表	がエスコート。着席確認、BGMを消し、会場が静まるのを待つ。
開式 9:00	司会	ただいまから、第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門の開会式を始す。一同、礼。 司会進行は、茨城県立並木中等教育学校 羽成 豪（はなりごう）が担当させていただきます。よろしくお願い致します。
あいさつ 9:03	司会	最初に、茨城県の生徒を代表しまして、水戸葵陵高等学校の佐藤 良賢（さとうよしのり）が歓迎の挨拶を申し上げます。
	生徒代表	あいさつ（略）
	司会	続きまして、佐々木清人（ささききよと）高等学校文化連盟全国将棋専門部会長より、ご挨拶を頂きます。
	全国部会長	あいさつ（略）
	司会	ありがとうございました。続きまして、日本将棋連盟理事片上大輔（かたがみだいすけ）様より、ご挨拶を頂きます。
	将棋連盟	あいさつ（略）
	司会	続きまして、水戸市長 高橋靖（たかはしやすし）様より、ご挨拶を頂きます。
	水戸市長	あいさつ（略）
	司会	ありがとうございました。市長は次の公務があるため、ここで退出されます。それまで少々お待ちください。 最後に、本大会部会長 生田目正直（なまたためまさなお）より、ご挨拶申し上げます。
	大会部会長	あいさつ（略）
優勝杯返還 9:19	司会	ありがとうございました。次に、優勝杯の返還とレプリカの贈呈を行います。前年度男子団体戦優勝校の岩手県・岩手高等学校、女子団体戦優勝校の愛知県・愛知工業大学名電高等学校の代表の皆さんは壇上にお上がりください。【なお、女子団体戦の優勝旗返還は、同校の、今年度男子団体の代表となっている生徒諸君にお願いしています。】→出場校によって対応する
	BGM（見よ勇者は帰る）を優勝杯返還・レプリカ贈呈が完了するまで流す。	
	全国部会長	全国部会長が中央へ。選手計6人がそろって前へ進み出る。
	司会	はじめに、男子団体戦優勝校の岩手高等学校より文部科学大臣杯、日本将棋連盟の優勝杯・優勝旗が返還されます。
	全国部会長	全国部会長に、文部科学大臣杯→優勝杯→優勝旗の順に返還。預かり員は、返還された杯を置き机に、優勝旗を旗立てに置く。
	司会	次に、レプリカの贈呈です。
	全国部会長	レプリカを渡す。続いて、女子。
	司会	続きまして、女子団体戦優勝校の愛知工業大学名電高等学校より文部科学大臣杯、日本将棋連盟の優勝杯・優勝旗が返還されます
	全国部会長	全国部会長に、文部科学大臣杯→優勝杯→優勝旗の順に返還。預かり員は、返還された杯を置き机に、優勝旗を旗立てに置く。
	司会	次に、レプリカの贈呈です。 岩手高校、愛知工業大学名電高校の皆様 席にお戻りください。
対局上の注意 9:22	司会	続きまして、美馬和夫（みま かずお）審判長より、対局上の注意があります。
	審判長	対局上の注意 プログラムにある対局規定に則って行うことを確認する。 （省略）
来賓紹介 9:25	司会	続きまして、矢須 雅進（やす まさゆき）茨城県高文連将棋専門部委員長より、来賓の方々の紹介をさせていただきます。
	委員長	来賓紹介（略）→於司会者席（終わりに演台マイクの向き・高さを調整して戻る）

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

選手宣誓 9:27	司会	選手宣誓は、太田第一高等学校 上村友大（うえむらゆうだい）さんと土浦第一高等学校 岩堀佳菜（いわほりかな）さんが行います。
	代表生徒	選手宣誓。右手を挙げて宣誓する。  宣誓 私達選手一同は、 日頃の練習の成果を発揮するとともに、 将棋の礼節を重んじる精神を大切にして、 正々堂々と最後まで、 自分の力と、一緒に戦う仲間を信じて、 全力で戦うことを誓います。  平成26年7月27日 選手代表 茨城県立太田第一高等学校 1年 上村友大 茨城県立土浦第一高等学校 2年 岩堀佳菜
閉式 9:29	司会	以上で、開会式を終了致します。一同、礼。  事務連絡があります。それに続いて予選第1回戦を始めます。
事務連絡	委員長 (矢須)	大会運営の連絡・諸注意。 ・ルール・予選での持ち時間およびマナーについて。 ・会場内は、私語は慎み静粛な雰囲気を保つようお願いします。 ・選手への連絡。大会の円滑な運営のために次の事をお願いします。 ①勝敗が決まり次第、まず本部に連絡してから感想戦に入る。 予選全試合の結果が判明しないと次の回戦が組めないため。 ②顧問等との感想戦・連絡は、ホール外の自由対局場等で。 ③続いている対局があります。感想戦終了後は、静かに観戦。 ④連絡事項はなるべくスクリーンで行います。予選の残り対局数はスクリーンに表示します。目安にして下さい。放送による連絡は最小限にとどめたいと思います。 ・昼食場所について ・ゴミについて ・熱中症対策→交流会をエアコンがある大道場・会議室に変更 指導対局は大道場／ 交流対局は会議室 最後に、正面を向いている椅子は対局ができるよう直せと指示
第1回戦 開始	先崎九段 (プロ棋士)	「それでは予選第1回戦を始めます。」 「対局時計の電源を確認し、正しい持ち時間が表示されているか確認して下さい。」 「振り駒をして先後を決めて下さい。」 「よろしいですか」(確認) 「では、予選第1局を始めます。」 「挨拶」
来賓退場		式典係誘導
本部設営		競技係

2. 5位表彰進行表

次 第	発言者	内 容
連絡事項 8:05	司会(教員)	まもなく5位表彰を開始致します。表彰を受ける方は指定の座席に着席ください。 男子団体(4チーム)・女子団体(4チーム)・男子個人(4人)・女子個人(4人)の5位が着席し、会場が静まるのを待つ。団体戦は出場者名簿の若い順(前)に並ぶ。チーム内での並ぶ順番は閉会式と同様にします。個人戦は出場者名簿の若い順に左前、右前、

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

左後、右後と並ぶ。		
開式 8:10	司会	ただいまから、第38回全国高等学校総合文化祭将棋部門の5位表彰式を始めます。一同、礼。表彰は佐々木清人（ささききよと）高文連全国将棋専門部会長にお願いしております。呼ばれた方は前に出てきてください。よろしくお願い致します。
あいさつ	司会	最初に、男子団体戦の5位表彰を行います。受賞校の皆さんは前にお並びください。
5位表彰はステージ上には上がらない。出場者名簿の番号の若い学校は正面に向かって左に立つ①。以下、着席時順に②③④と右へと並び、呼び出しを受けたら表彰台の前に立ち表彰を受ける。表彰後は①は④の隣に移動し、②③④は左に移動する。以下同様にローテーションする。		
	司会	（呼び出し）〇〇高等学校（中等教育学校等）
	授与:全国部会長 (勸:県部会長)	受賞者が表彰台前に来たら、全国部会長が賞状読み上げ（伝達）を行う。順番は上記の①②③④の順に行う。 賞状を渡すときにBGM（得賞歌【見よ、勇者は帰る】）を流す
	司会	（終了後）受賞校の皆さんは席にお戻りください。 次に女子団体戦の表彰を行います。女子団体戦の5位表彰を受ける受賞校の皆さんは前にお並びください。
【女子団体戦】男子団体戦と同様に賞状読み上げをローテーションで行う。BGMも同様に流す。		
	司会	（終了後）受賞校の皆さんは席にお戻りください。 次に男子個人戦の表彰を行います。男子個人戦の5位表彰を受ける4名の皆さんは前にお並びください。
【男子個人戦】男子団体戦と同様に賞状読み上げを行う。少人数のためローテーションは行わない。表彰者の位置は動かず、表彰時に表彰台前に移動する。BGMも同様に流す。		
	司会	（終了後）受賞校の皆さんは席にお戻りください。 次に女子個人戦の表彰を行います。女子個人戦の5位表彰を受ける4名の皆さんは前にお並びください。
【女子個人戦】男子団体戦と同様に賞状読み上げを行う。少人数のためローテーションは行わない。表彰者の位置は動かず、表彰時に表彰台前に移動する。BGMも同様に流す。		
	司会	（終了後）受賞校の皆さんは席にお戻りください。 （着席後）以上を持ちまして5位表彰式を終わらせていただきます。 一同、礼。以上を持ちまして解散となります。

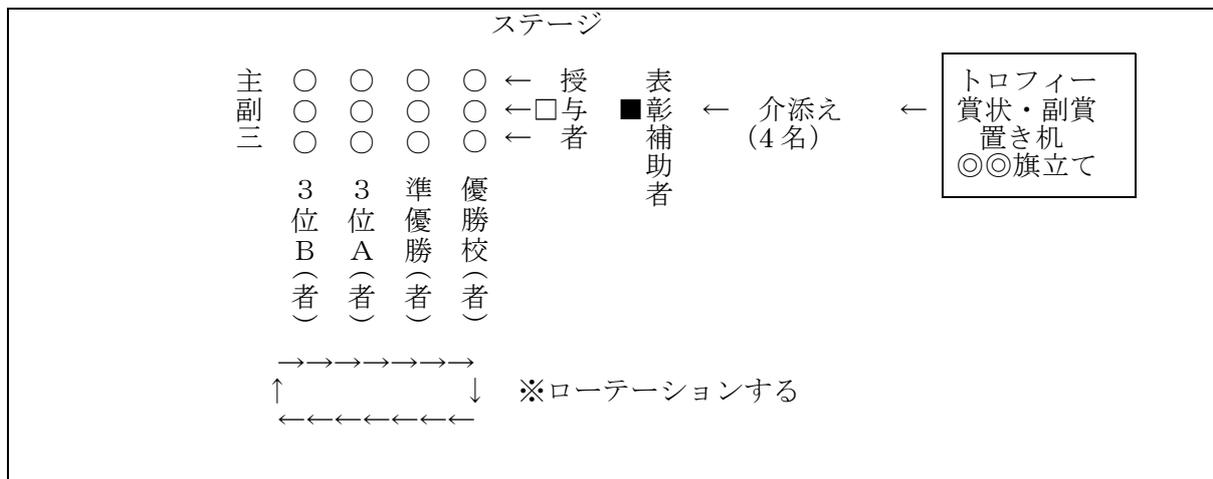
3. 閉会式(表彰)進行表

次 第	発言者	内 容
開式 12:10	司会	ただいまから、閉会式を行います。司会進行は、茨城県立並木中等教育学校2年、羽成 豪（はなりごう）が担当致します。よろしくお願い致します。
あいさつ 12:11	司会	最初に、佐々木清人（ささききよと）高文連全国将棋専門部会長より、ご挨拶を頂きます。
	全国部会長	あいさつ（略）
	司会	ありがとうございました。
	司会	続きまして、本大会部会長 生田目正直（なまためまさなお）より、ご挨拶申し上げます。
	大会部会長	あいさつ（略）
成績発表 12:15	司会	ありがとうございます。
	司会	続きまして、矢須雅進（やすまさゆき）茨城県高文連将棋専門部委員長が成績を発表します。
	委員長	成績発表（略）

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

<表彰時のポイント>

- ・表彰順 男子団体 → 女子団体 → 男子個人 → 女子個人。
- ・各種目で、文部科学省(優勝)文化庁(準優勝)→ 高文連(優勝～3位)→ 将棋連盟(優勝～3位)
- ・優勝のみ文面を読み上げる。準優勝以下の表彰は、すべて「以下同文」で賞状読みを省略。
- ・介添え員が、表彰を熟知し、すべてにおいて指示を出す。
- ・介添え員の仕事：置き机から賞状・トロフィー・楯等を順番に持って行き、表彰補助者に渡す。(誰が何をどの順で渡すのかを要確認)



男子団体表彰（女子団体も同様）

男子団体表彰	<b>司会</b>	<b>これより、表彰に移ります。</b> <b>はじめに、男子団体戦の表彰を行います。表彰を受ける皆さんは、舞台にお上がりください。</b>
		BGM（「【未来〈そら〉へと続く道】」）を免状授与終了まで流す。
	<b>司会</b>	<b>最初に、文部科学省から優勝校・準優勝校に表彰が行われます。</b>
	授与者:文部科学省	文部科学省代表者（来ない場合は全国部会長）が文部科学大臣賞の賞状を読み、優勝校に賞状と杯を授与。 大 ← ①文部科学大臣賞の賞状 副 ← ②文部科学大臣杯 三 優勝校は3位の前に並ぶ。 文化庁の賞状を読み、準優勝校に賞状を授与。 大 ← ①文化庁の賞状 副 三
	<b>司会</b>	<b>次に、高文連から表彰が行われます。</b>
	授与者:全国部会長 (補助:県部会長)	賞状を読み、賞状と楯を授与。 大 ← ①高文連の賞状(全校) 副 ← ②高文連の楯(全校) 三 全国部会長が席に戻る。将棋連盟が中央へ。
<b>司会</b>	<b>次に、日本将棋連盟から表彰が行われます。</b>	
授与者:将棋連盟 (補助:県部会長)	賞状を読み、賞状、優勝旗、優勝杯、メダルを授与。 大 ← ①将棋連盟の賞状(全校) ④メダル(全員) ←戸辺六段 副 ← ②優勝旗(優勝校) 三 ← ③優勝杯(優勝校) 介添え員は、旗立てを机の前に運ぶ。	
<b>司会</b>	<b>優勝校の皆さんは席にお戻りください。</b>	
女子団体表彰	<b>司会</b>	<b>次に、女子団体戦の表彰を行います。女子団体の表彰を受ける皆さんは舞台にお上がりください。</b>
12:24		以下、女子団体と同様。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

男子個人戦表彰（女子個人も同様）

男子個人戦 表彰 (優勝) 12:31	司会	続きます、男子個人戦の表彰を行います。男子個人戦の表彰を受ける皆さんは、舞台にお上がりください。
	司会	最初に、文部科学省から優勝者・準優勝者に表彰が行われます。
	授与者:文部科学省	文部科学大臣賞の賞状を読み、賞状を授与。(優勝・準優勝者) 文部科学省が席に戻る。全国部会長が中央へ。
	司会	次に、高文連から表彰が行われます。
	授与者:全国部会長 (補助:県部会長)	賞状を読み、賞状と楯を授与。 受賞者 ← ①賞状 ②楯(全員) ← 全国部会長 預かり員は、賞状、楯を机まで運ぶ。全国部会長が席に戻る。将棋連盟が中央へ。
	司会	次に、日本将棋連盟から表彰が行われます。
女子個人戦 表彰 12:36	授与者:将棋連盟 (補助:県部会長)	賞状を読み、賞状、優勝杯、メダルを授与。 受賞者 ← ①賞状 ②優勝杯(優勝校のみ) ③メダル ← 戸辺 誠 六段
	司会	次に、女子個人戦の表彰を行います。女子個人戦の表彰を受ける皆さんは、舞台にお上がりください。
	以下、男子個人と同様。	

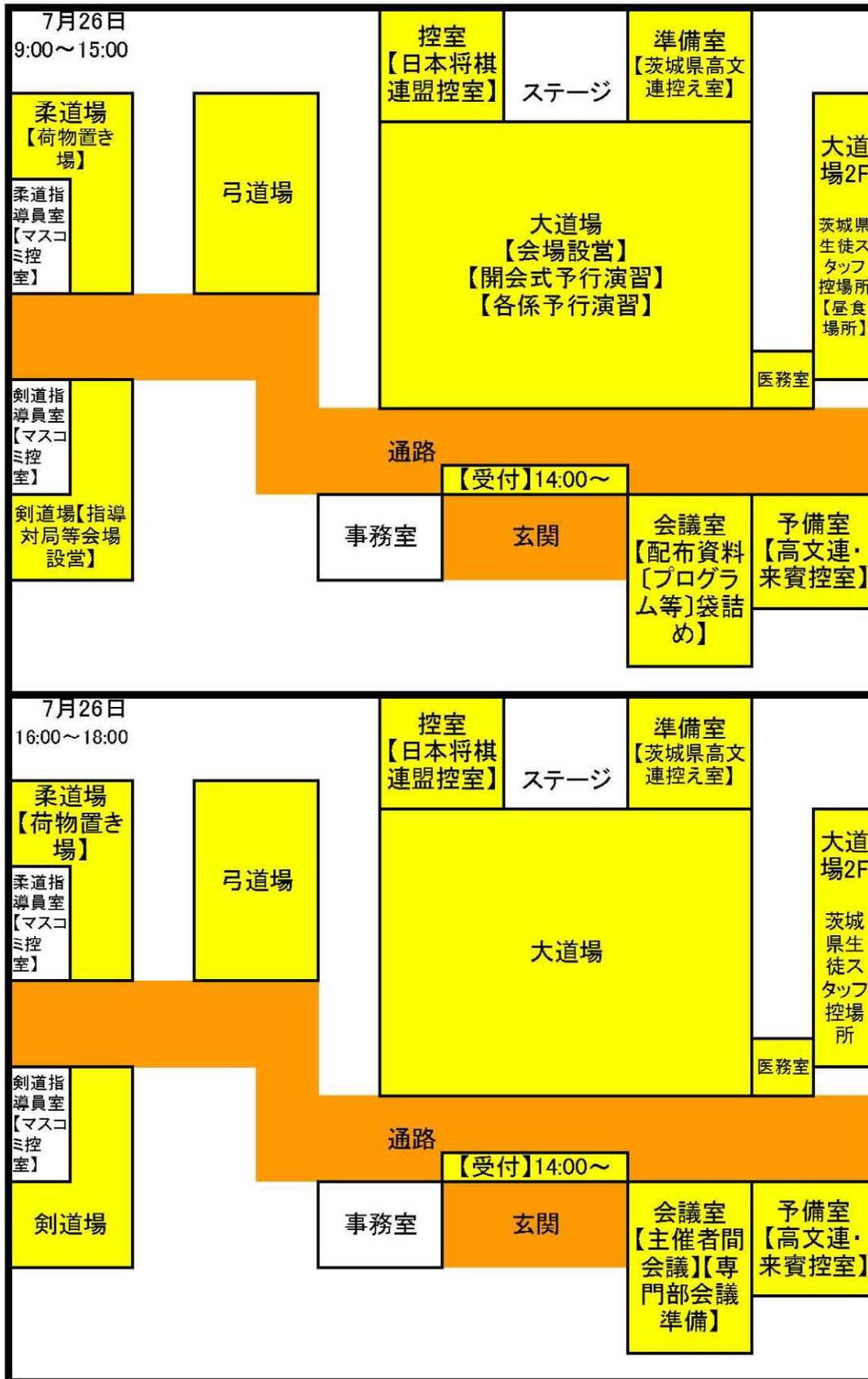
免状授与（決勝終了後、免状所有の有無を優勝者、準優勝者に確認）

免状授与 12:42	司会	個人戦の優勝者と準優勝者に日本将棋連盟から段位免状の目録が贈られます。4名の選手は、舞台にお上がりください。
	授与者:将棋連盟 (補助:県部会長)	目録を読み、次々に授与。 女子個人優勝者 ← 戸辺 誠 六段 女子個人準優勝者 ← 〃 男子個人優勝者 ← 〃 男子個人準優勝者 ← 〃
	司会	皆さん、席にお戻りください。

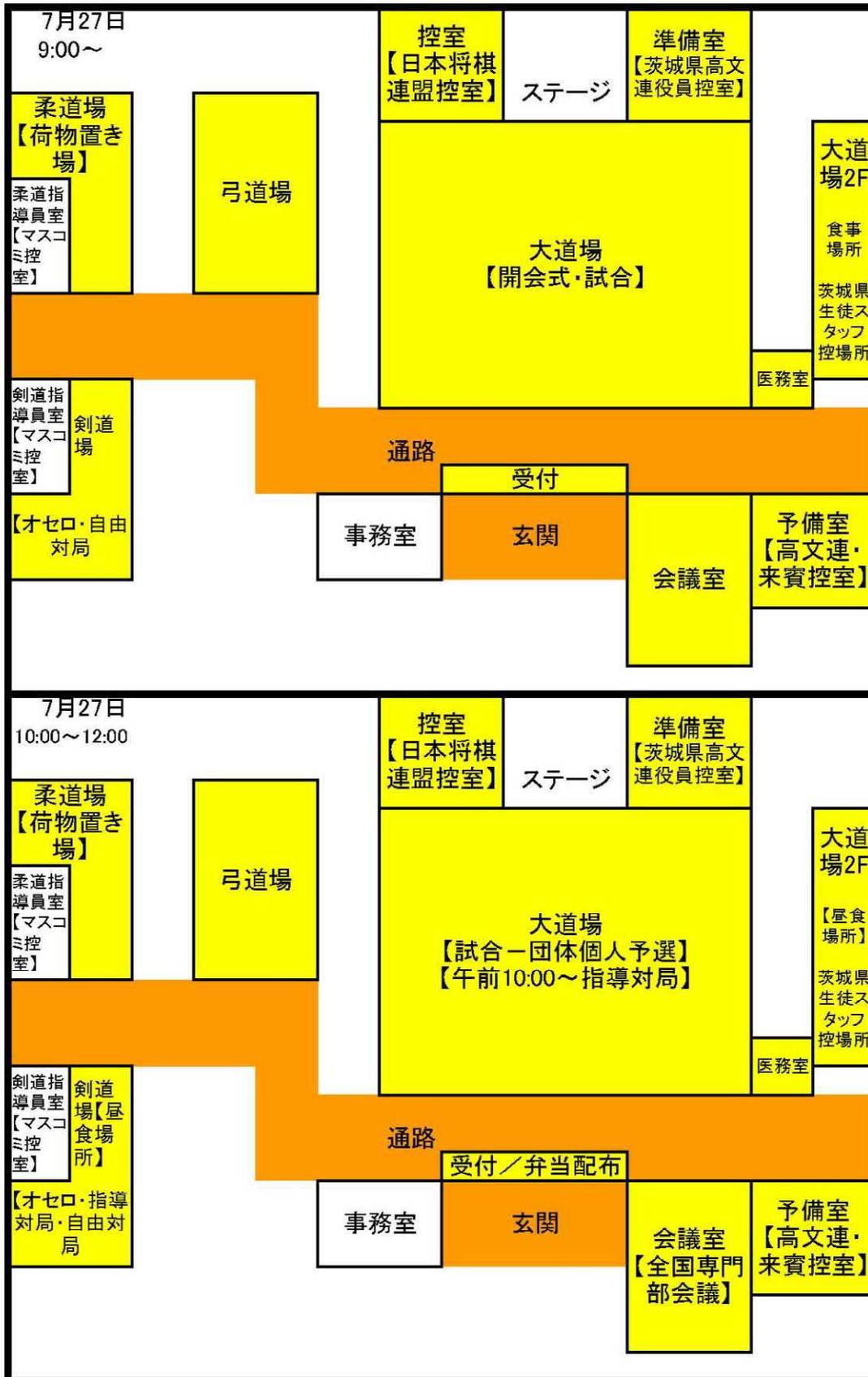
講評・次年度開催県あいさつ・お礼のことば

講評 12:44	司会	先崎学（せんざきまなぶ）九段より、講評をいただきます。
	プロ棋士	講評（略）
次年度開催 県あいさつ 12:46	司会	ありがとうございました。
	滋賀県代表	続きまして、次年度開催県を代表して、寺井久信（てらいひさのぶ）滋賀県高文連将棋専門部会長より、ご挨拶をいただきます。 あいさつ（略）
お礼のこと ば 12:48	司会	ありがとうございました。
	生徒代表	最後に、茨城県の生徒を代表いたしまして、水戸葵陵高等学校の佐藤 良賢（さとうよしのり）がお礼のご挨拶を申し上げます。 あいさつ（略）
	司会	ありがとうございました。
閉式 12:50	司会	以上をもちまして、閉会式を終わらせて頂きます。 皆様、三日間にわたる本大会へのご協力本当にありがとうございました。
	事務局	引き続き、事務連絡があります。
事務連絡	事務局	略
しばらくBGM（茨城総文2014テーマソング【未来〈そら〉へと続く道】）を流す。		

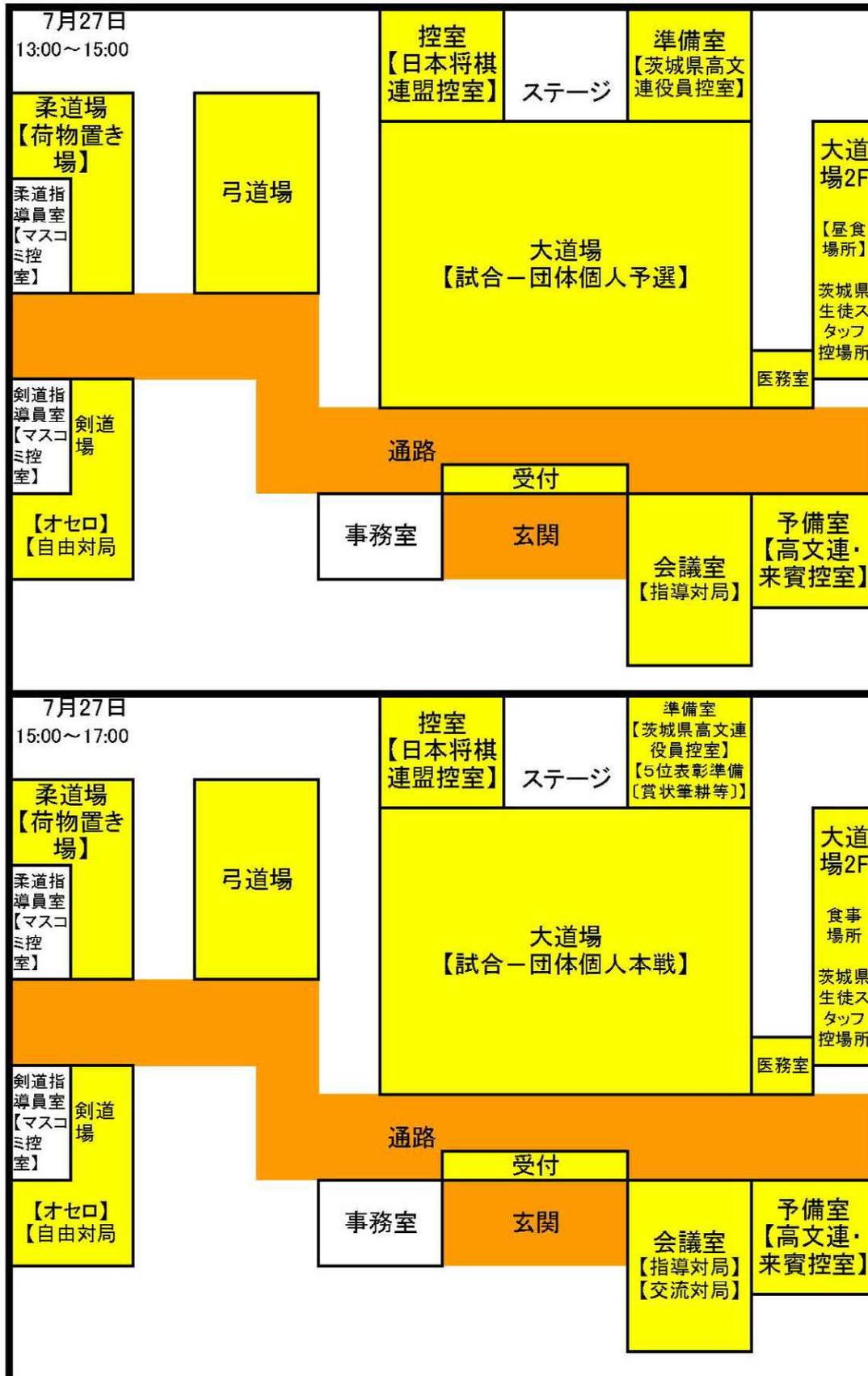
第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



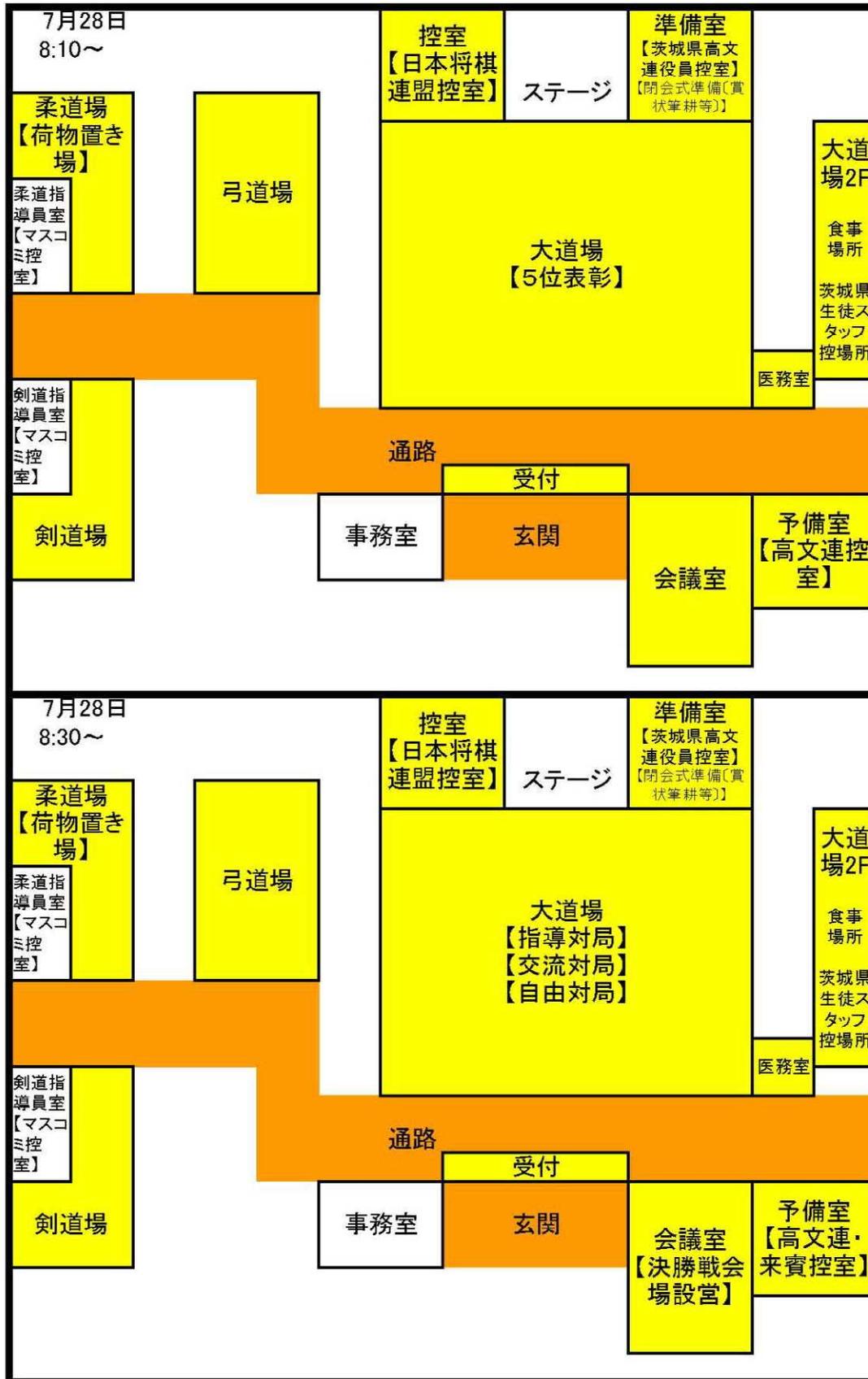
第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



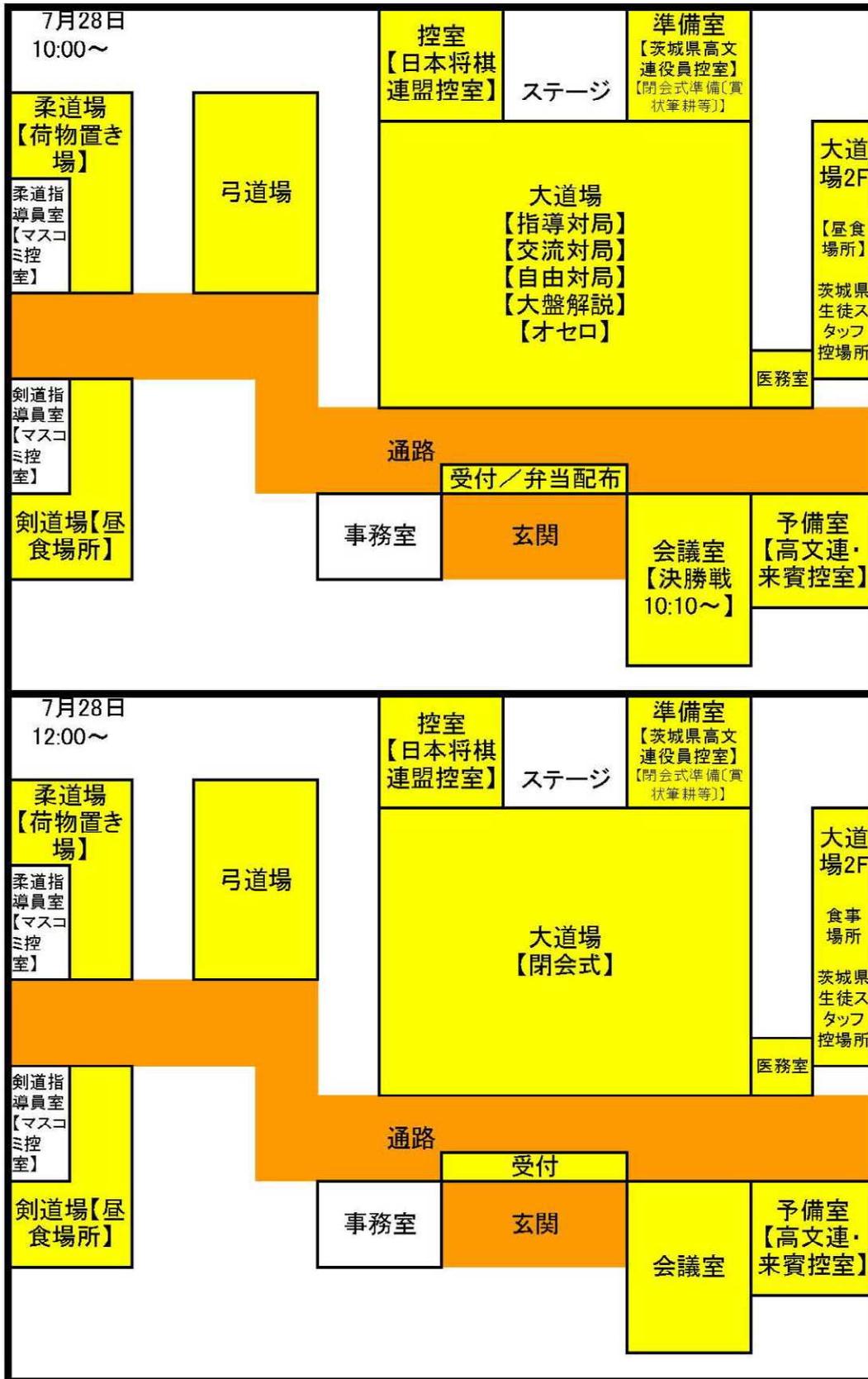
第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
 第50回全国高等学校将棋選手権大会





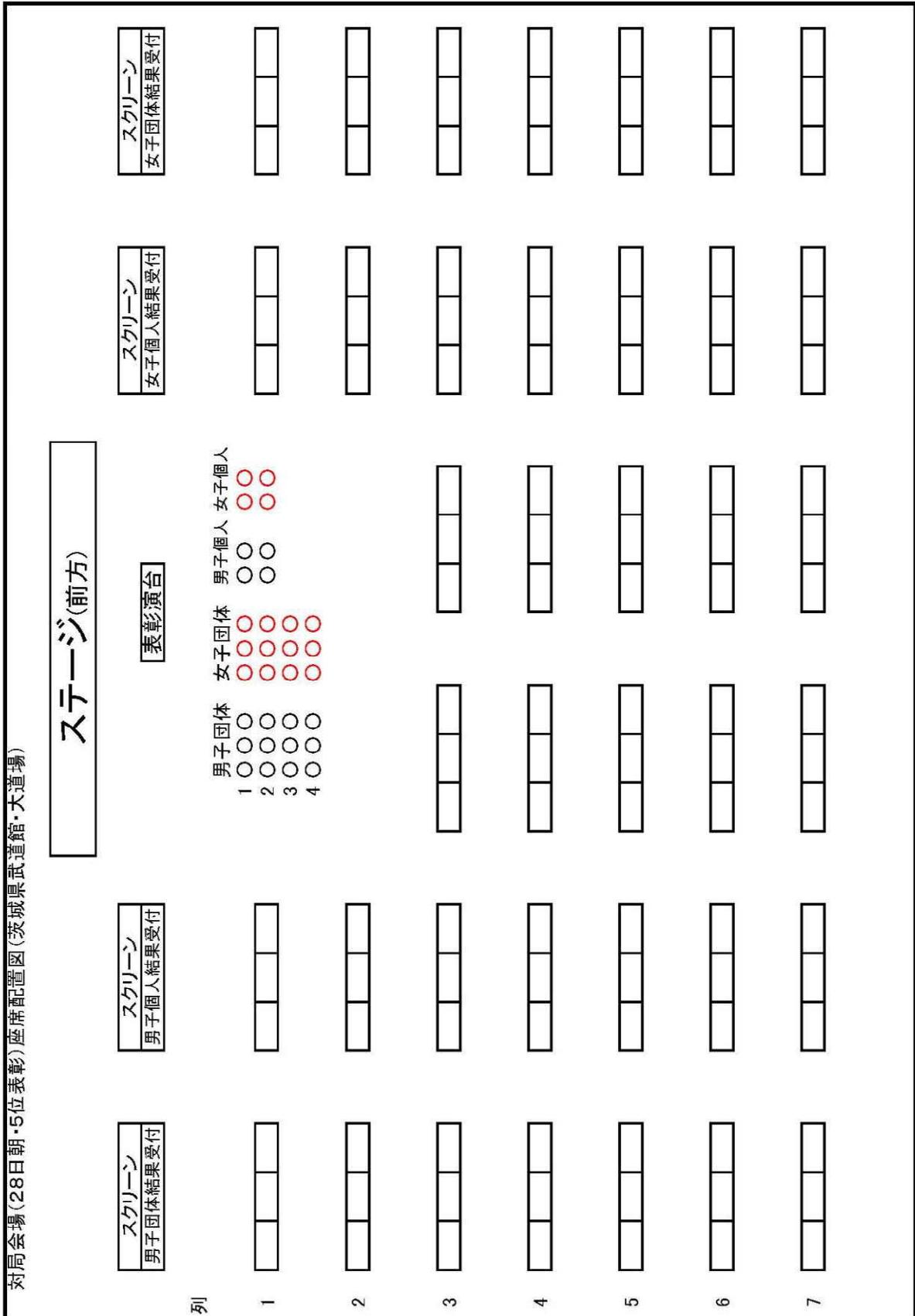


7月27日・対局会場（本戦）座席配置図（茨城県武道館・大道場）

ステージ（前方）

列	スクリーン	スクリーン	スクリーン	スクリーン	スクリーン
	男子団体結果受付	男子個人結果受付	男子個人	女子個人結果受付	女子団体結果受付
1	男子団体 ○○○ 1 ○○○	男子個人 ○○○ 3 2 1 ○○○	男子個人 ○○○ 5 ○○○	女子個人 ○○○ 1 2 3 ○○○	女子団体 ○○○ 1 ○○○
2	男子団体 ○○○ 2 ○○○	男子個人 ○○○ 6 5 4 ○○○	男子個人 ○○○ 6 ○○○	女子個人 ○○○ 4 5 6 ○○○	女子団体 ○○○ 2 ○○○
3	男子団体 ○○○ 3 ○○○	男子個人 ○○○ 9 8 7 ○○○	男子個人 ○○○ 7 ○○○	女子個人 ○○○ 7 8 9 ○○○	女子団体 ○○○ 3 ○○○
4	男子団体 ○○○ 4 ○○○	男子個人 ○○○ 12 11 10 ○○○	男子個人 ○○○ 8 ○○○	女子個人 ○○○ 10 11 12 ○○○	女子団体 ○○○ 4 ○○○
5	男子団体 ○○○ ○○○	男子個人 ○○○ 15 14 13 ○○○	男子個人 ○○○ 15 ○○○	女子個人 ○○○ 13 14 15 ○○○	女子団体 ○○○ ○○○
6	男子団体 ○○○ ○○○	男子個人 ○○○ ○○○ 16	男子個人 ○○○ 16	女子個人 ○○○ 16	女子団体 ○○○ ○○○
7	男子団体 ○○○ ○○○	男子個人 ○○○ ○○○	男子個人 ○○○ ○○○	女子個人 ○○○ ○○○	女子団体 ○○○ ○○○

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



対局会場(28日準決勝)座席配置図(茨城県武道館・大道場)

ステージ(前方)

閉会式の会場を設営する。

スクリーン	スクリーン
男子団体結果受付	男子個人結果受付

大盤解説用椅子のみ準備。

列	1	2	3	4	5	6	7
男子団体	1位	2位	3位A	3位B	3位A	3位B	3位A
男子個人	1位	2位	3位A	3位B	3位A	3位B	3位A
女子団体	1位	2位	3位A	3位B	3位A	3位B	3位A
女子個人	1位	2位	3位A	3位B	3位A	3位B	3位A
女子団体結果受付	1	2					

スクリーン	スクリーン
男子個人結果受付	女子個人結果受付

男子団体	1	2
男子個人	1	2

スクリーン	スクリーン
男子団体結果受付	女子団体結果受付

女子団体	1	2
女子個人	1	2

指導対局

交流対局

自由対局

指導対局							

交流対局							

自由対局							

オセロコーナー

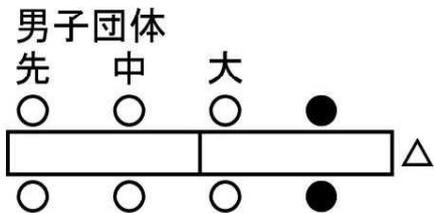


7月28日・対局会場（本戦決勝戦）座席配置図（茨城県武道館・会議室）

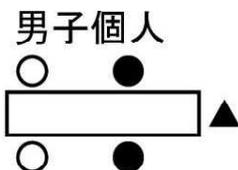
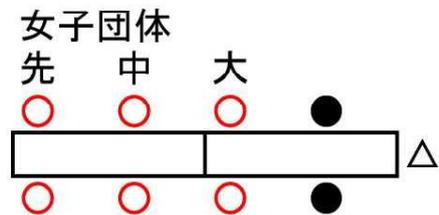
○選手、●採譜者、▲伝達係（大盤+棋泉へ）、■審判・役員  
 △伝達係（棋泉操作担当者へ【4人】）

入  
口

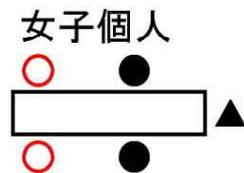
男女団体個人の  
 それぞれの周囲を  
 机で囲い、観覧者が  
 競技者の近くに  
 寄れないようにする。



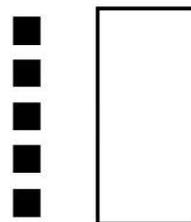
団体戦は大將戦を採譜



個人戦伝達係は届ける用紙を二枚作り、大盤解説者と個人戦棋泉操作担当者の双方に提出する。

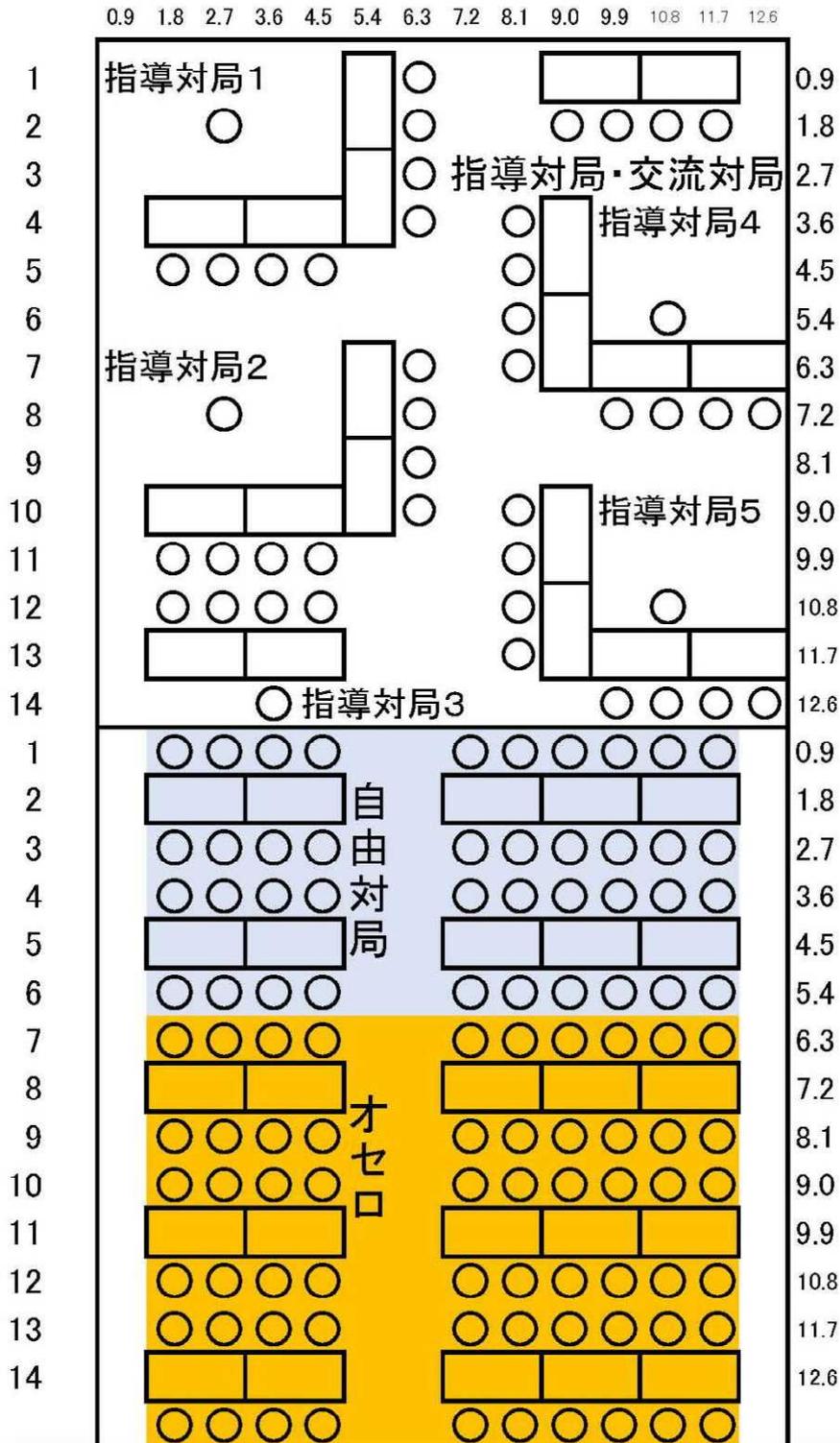


入  
口



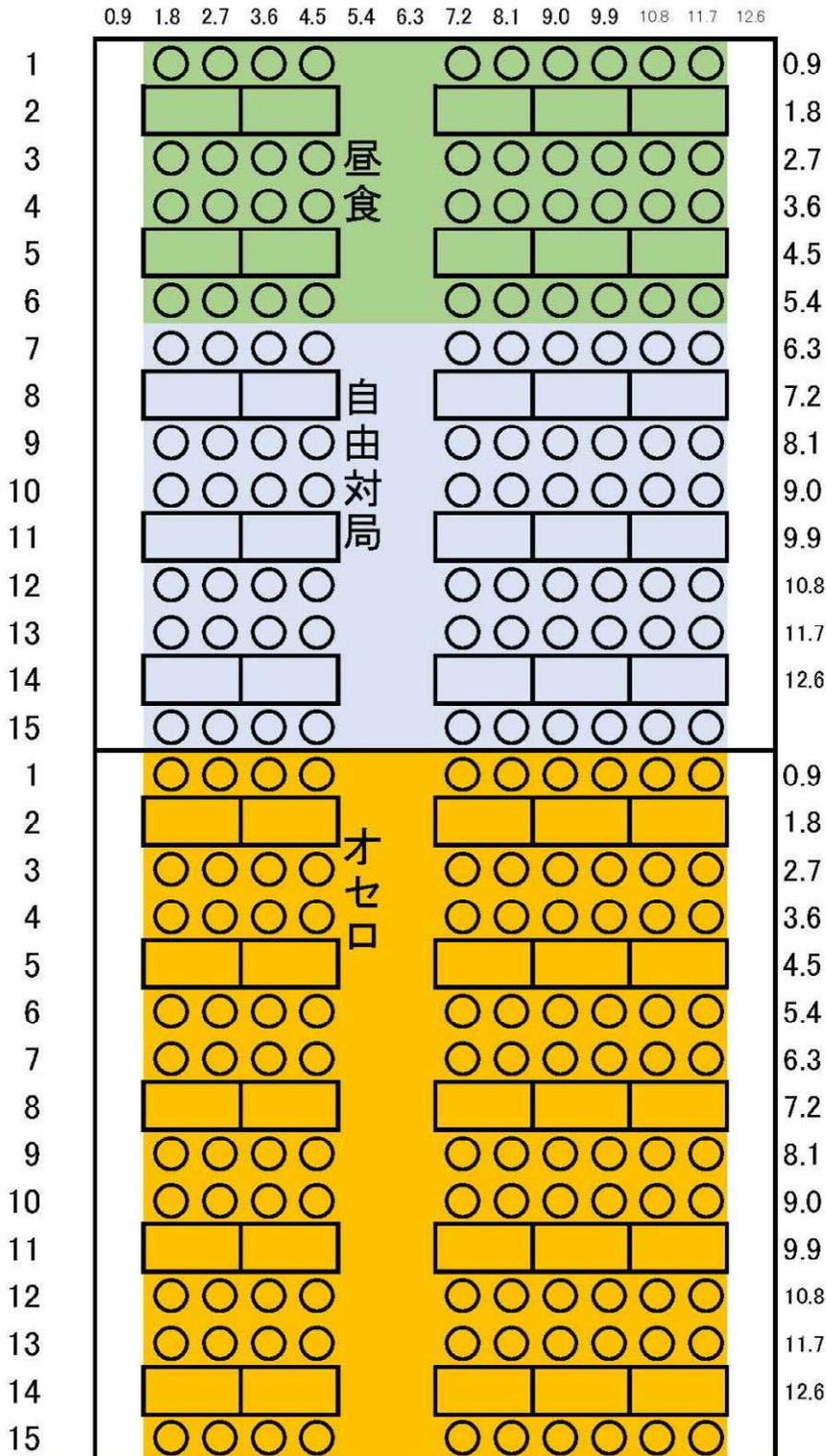
先手になった大將の側に採譜者（審判）  
 後手になった大將の側に採譜者（第2採譜者【高校生】）

剣道場配置(剣道場サイズ 12.88×27.85)  
 7月27日午前交流会座席配置図(剣道場)



※机椅子は茨城県武道館のものを利用する。

剣道場配置(剣道場サイズ 12.88×27.85)  
 7月27日午後交流会座席配置図(剣道場)



※机椅子は茨城県武道館のものを利用する。



第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会



第38回全国高等学校総合文化祭 将棋部門 対局カード

学校名	都道府県
番付	府県
ふりがな	
学校名	
ふりがな	
主将 氏名	( 年 )
ふりがな	
副将 氏名	( 年 )
ふりがな	
三将 氏名	( 年 )

回戦	① 対戦校 学校番号	② 対戦校 学校名	③ 対戦相手の種別 (種1, 取0)			④ この対戦校の 勝敗数	⑤ 学校の前年度 (種1, 取0)	⑥ 学校の前年度 (種1, 取0)	⑦ 対戦相手の種別 種別サイン
			主将	副将	三将				
1									
2									
3									
4									
決勝 T1									
準々 決勝									
準 決勝									
決勝									

1. 対局前に「対戦相手の種別」と「対戦相手の名前」を「対戦相手」に記入してもらう。
2. 対戦先「対戦相手の種別」を「種1」で記入する。
3. 「対戦相手の種別」(0-0, 2-1, 1-2, 0-3)、「対戦相手の名前」(種別が1, 取0)、「対戦相手の種別」を記入する。
4. 記入が正しいかで相手の種別をとり、「対戦相手の種別」を記入する。
5. 対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。
6. 対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。
7. 対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。
8. 対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。
9. この対戦カードは、対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。対戦相手の種別「種1」で記入された対戦相手の種別は「種1」で記入する。

第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会（将棋部門）  
第50回全国高等学校将棋選手権大会

個人

第38回全国高等学校総合文化祭 将棋部門 対局カード

選手番号	都道府県	対局相手 学校名	対局相手 氏名	対局相手 氏名
① 対局場 番号	② 対局相手 選手番号	③ 対局相手 氏名	④ 自分の勝ち点 勝1 敗0	⑤ 自分の勝ち点の 累計
⑥ 対戦相手の 確認サイン				
1				
2				
3				
4				
決勝T1				
準々決勝				
準決勝				
決勝				

1. スクリーニングの組合せ表をみて、対局場所に着席し、「①対局場番号」を記入する。
2. 対局前に、「②対戦相手選手番号」と「③対戦相手氏名」を、対戦相手に記入してもらう。
3. 対局後、「④自分の勝ち点」、「⑤自分の勝ち点の累計」を、各自で記入する。
4. 記入内容に関して相手の確認をとり、「⑥対戦相手の確認サイン」をもらう。
5. 対戦結果報告所に勝者が報告に行く。対局結果報告書を提出。
6. 各回戦ごとにスクリーニングに結果を表示するので、自分の対局結果を確認し、間違いがある場合はすぐに対戦結果報告所に連絡すること。(注意) 記録・確認のミスは回復が困難なので、十分注意して下さい。
7. この対局カードは、対局結果確認のため、本部から提出を求められることがあります。各自で管理して下さい。

※最終的に、このカードはこの大会の記念に持ち帰して下さい。



## 指導対局申し込み用紙

都道府県名		高校名		
フリガナ 名前		棋力  段 級		
※該当に○ 選手, その他の生徒, 教諭, 一般				
	7月27日(日)		7月28日(月)	
※希望 時間帯に○	10:00~12:00		9:00~11:00	
	13:00~14:30		/	
	15:00~17:00			
	※受付チェック欄		※指導棋士 ----- 先生	

※ 欄は記入しないでください。

- ・棋士の指名はできません。
- ・対局順は、受付で示します。指導席へすぐに移動できるよう、自分の順番が近づいたら、待機しておいてください。いない場合はキャンセルとみなします。
- ・申し込み後取り消す場合は、早めに受付に申し出てください。
- ・申し込みが多い場合は、生徒への指導を優先します。  
また、指導対局をお断りしなければならないことがあります。その際は掲示します。ご了承ください。
- ・指導時間ごとに指導を打ち切ります。勝敗がつかずに指導が終了する場合はご了承ください。

# 栄 光 の 記 録

## 1. 個人戦優勝者

回数	年度	男 子		女 子	
1	昭和40	沼 春 雄	(千歳高校)	菊 元 チヅル	(日出国園高校)
2	昭和41	倉 吉 金	(東亜商高校)	前 田 真理子	(日出国園高校)
3	昭和42	井 上 雅 裕	(市川工高校)	菊 元 みどり	(日出国園高校)
4	昭和43	野 口 鎮 生	(八幡中央高校)	尾 関 洋 子	(小樽昭和高校)
5	昭和44	横 山 公 望	(自由ヶ丘高校)	倉 西 和佳子	(小樽昭和高校)
6	昭和45	岡 村 正 文	(沼津東高校)	船 橋 和 枝	(小樽昭和高校)
7	昭和46	加 藤 慎 二	(横浜東高校)	赤 崎 益 美	(横浜戸塚高校)
8	昭和47	藤 田 博 将	(松山工高校)	松 枝 淑 恵	(横浜平沼高校)
9	昭和48	五十嵐 広 彰	(新潟南高校)	兼 田 睦 美	(夕張南高校)
10	昭和49	甘 竹 潤 二	(大船渡高校)	兼 田 睦 美	(夕張南高校)
11	昭和50	成 田 英 二	(札幌星園高校)	兼 田 睦 美	(夕張南高校)
12	昭和51	新井田 基 信	(札幌光星高校)	越 前 睦 美	(竹早高校)
13	昭和52	広 田 輝 幸	(倉敷南高校)	中 瀬 奈津子	(筑波大付坂戸高校)
14	昭和53	新井田 基 信	(札幌光星高校)	越 前 睦 美	(竹早高校)
15	昭和54	古 作 登	(筑波大付高校)	高 橋 さゆり	(光ヶ丘高校)
16	昭和55	金 山 健 二	(御影高校)	成 瀬 しのぶ	(緑ヶ丘高校)
17	昭和56	広 瀬 尚 良	(岐阜商業高校)	中 瀬 尚 美	(筑波大付坂戸高校)
18	昭和57	若 林 猛	(目黒高校)	金 子 美 和	(横須賀高校)
19	昭和58	風 晴 清 吾	(青森工業高校)	為 谷 夕起子	(高崎市女高校)
20	昭和59	深 海 智 純	(広島皆実高校)	斎 田 晴 子	(湘南高校)
21	昭和60	武 山 俊 夫	(専修大松戸高校)	植 村 真 理	(明善高校)
22	昭和61	渡 辺 健 弥	(戸塚高校)	植 村 真 理	(明善高校)
23	昭和62	菊 田 裕 司	(札幌南高校)	杉 谷 牧 子	(藤枝明誠高校)
24	昭和63	丸 山 玄 則	(上田高校)	竹 下 めぐみ	(土浦日大高校)
25	平成1	山 田 康 平	(京教大附属高校)	久 津 知 子	(札幌星園高校)
26	平成2	緒 方 等	(八王子工業高校)	竹 内 幸 代	(和洋女子大附属九段高校)
27	平成3	尾 沢 透	(柏陽高校)	竹 松 映 子	(伊那北高校)
28	平成4	三 和 秀 樹	(洛南高校)	小 牧 久 美	(伊那北高校)
29	平成5	鰐 淵 啓 史	(小樽桜陽高校)	北 原 優 子	(伊那北高校)
30	平成6	林 隆 弘	(常葉学園高校)	坂 井 仁 美	(岐阜北高校)
31	平成7	細 川 大市郎	(城ノ内高校)	坂 井 仁 美	(岐阜北高校)
32	平成8	天 野 啓 吾	(明星高校)	吉 田 優 美	(北陵高校)
33	平成9	天 野 啓 吾	(明星高校)	吉 田 優 美	(北陵高校)
34	平成10	加 藤 幸 男	(多治見北高校)	吉 田 優 美	(北陵高校)
35	平成11	小木曾 正 訓	(小金高校)	講 神 元 美	(愛知工業高校)
36	平成12	水 野 札 崇	(東海高校)	講 神 元 美	(愛知工業高校)
37	平成13	禰 保 拓 也	(泊通信高校)	中 垣 望	(仁愛女子高校)
38	平成14	今 城 洋 亮	(高槻高校)	中 垣 望	(仁愛女子高校)
39	平成15	森 本 泰 介	(慶応義塾湘南藤沢高校)	笠 井 友 貴	(青雲高校)
40	平成16	和井田 佑 司	(杉戸高校)	笠 井 友 貴	(青雲高校)
41	平成17	相 良 剛 史	(千葉日大第一高校)	篠 崎 梢	(両国高校)
42	平成18	増 本 敬	(佐世保工業高校)	室 谷 早 紀	(生野高校)
43	平成19	山 田 雄 介	(山田高校)	室 谷 早 紀	(生野高校)
44	平成20	山 田 祥 五	(白陵高校)	鈴 木 絵里奈	(明豊高校)
45	平成21	青 木 翔	(大宮高校)	室 谷 由 紀	(同志社香里高校)
46	平成22	中 川 慧 梧	(岩手高校)	小山田 友 希	(盛岡第一高校)
47	平成23	原 司	(早稲田高校)	北 村 桂 香	(立命館宇治高校)
48	平成24	長 森 優 作	(甲南高校)	成 田 弥 穂	(仙台第二高校)
49	平成25	長 森 優 作	(甲南高校)	和 田 あ き	(國學院高校)

## 栄 光 の 記 録

### 2. 団体戦優勝校

回数	年度	男 子		女 子	
1	昭和40	世田谷工高校	(東京)	日出女子学園高校	(東京)
2	昭和41	千歳高校	(東京)	日出女子学園高校	(東京)
3	昭和42	羽田工業高校	(東京)	日出女子学園高校	(東京)
4	昭和43	八幡中央高校	(福岡)	小樽昭和高校	(北海道)
5	昭和44	桐朋高校	(東京)	小樽昭和高校	(北海道)
6	昭和45	桐朋高校	(東京)	小樽昭和高校	(北海道)
7	昭和46	横浜翠嵐高校	(神奈川)	横浜戸塚高校	(神奈川)
8	昭和47	修道高校	(広島)	横浜戸塚高校	(神奈川)
9	昭和48	安積高校	(福島)	横浜戸塚高校	(神奈川)
10	昭和49	東海高校	(愛知)	横浜戸塚高校	(神奈川)
11	昭和50	福山誠之館高校	(広島)	横浜戸塚高校	(神奈川)
12	昭和51	慶応義塾高校	(神奈川)	横浜戸塚高校	(神奈川)
13	昭和52	銚子市立高校	(千葉)	結城第二高校	(茨城)
14	昭和53	秋田工業専門高校	(秋田)	筑波大付属坂戸高校	(埼玉)
15	昭和54	旭川東高校	(北海道)	高崎市立女子高校	(群馬)
16	昭和55	千葉高校	(千葉)	高崎市立女子高校	(群馬)
17	昭和56	麻布高校	(東京)	高崎市立女子高校	(群馬)
18	昭和57	麻布高校	(東京)	横須賀高校	(神奈川)
19	昭和58	盛岡第三高校	(岩手)	高崎市立女子高校	(群馬)
20	昭和59	麻布高校	(東京)	高崎市立女子高校	(群馬)
21	昭和60	岐阜高校	(岐阜)	甲府西高校	(山梨)
22	昭和61	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
23	昭和62	横浜戸塚高校	(神奈川)	藤枝明誠高校	(静岡)
24	昭和63	麻布高校	(東京)	高崎市立女子高校	(群馬)
25	平成1	東海高校	(愛知)	藤枝明誠高校	(静岡)
26	平成2	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
27	平成3	青森高校	(青森)	伊那北高校	(長野)
28	平成4	熊本高校	(熊本)	伊那北高校	(長野)
29	平成5	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
30	平成6	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
31	平成7	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
32	平成8	麻布高校	(東京)	伊那北高校	(長野)
33	平成9	東海高校	(愛知)	伊那北高校	(長野)
34	平成10	麻布高校	(東京)	藤枝明誠高校	(静岡)
35	平成11	安古市高校	(広島)	藤枝明誠高校	(静岡)
36	平成12	大阪星光学院高校	(大阪)	伊那北高校	(長野)
37	平成13	藤枝明誠高校	(静岡)	幕張総合高校	(千葉)
38	平成14	嵯峨野航行	(京都)	日大三島高校	(静岡)
39	平成15	灘高校	(兵庫)	藤枝明誠高校	(静岡)
40	平成16	灘高校	(兵庫)	倉敷青陵高校	(岡山)
41	平成17	上宮高校	(大阪)	幕張総合高校	(千葉)
42	平成18	鳥取西高校	(鳥取)	南山高校女子部	(愛知)
43	平成19	城北高校	(東京)	幕張総合高校	(千葉)
44	平成20	岩手高校	(岩手)	南山高校女子部	(愛知)
45	平成21	青森高校	(青森)	幕張総合高校	(千葉)
46	平成22	灘高校	(兵庫)	岩村田高校	(長野)
47	平成23	岩手高校	(岩手)	岡山朝日高校	(岡山)
48	平成24	岩手高校A	(岩手)	愛知工業大学名電高校	(愛知)
49	平成25	岩手高校A	(岩手)	愛知工業大学名電高校	(愛知)

弁当配送先（将棋部会運営要員弁当）

部門	配送先	7月26日		7月27日		7月28日	
		生徒	教員	生徒	教員	生徒	教員
将棋	茨城県武道館玄関	64	27	61	34	51	29

弁当配送先（支援校〔水戸商業高校・養護・筆耕〕運営要員弁当）

部門	配送先	7月26日		7月27日			7月28日		
		生徒	教員	生徒	教員	養護	生徒	教員	養護筆耕
将棋	茨城県武道館玄関	40	6	12	6	2	12	6	4

弁当配送先（日本将棋連盟＋審判〔日本将棋連盟茨城県支部連合会〕弁当）

部門	配送先	7月26日		7月27日		7月28日	
		日将	審判	日将	審判	日将	審判
将棋	茨城県武道館玄関	0	0	7	7	6	5

弁当請求書発送先：石岡第一高等学校（315-0001 石岡市石岡1-9） ・ 矢須雅進

スタッフTシャツについて

納入先：石岡第一高等学校（315-0001 石岡市石岡1-9） ・ 矢須雅進

納入日：7月24日

全国高校将棋選手権大会で使用する将棋盤・駒・対局時計・三角プレートの移動について

現在の保管場所：教育研修センター（集配業者：ヤマト運輸・茨城サービスセンター 0570-200-000）

7/22に運送業者に集荷指示し、7/25夕方17:00以降に茨城県武道館到着。

↓

全国高校将棋選手権大会終了後に対局時計以外の全てを荷造りし、柔道場に保管する。

↓

対局時計は囲碁部会で使用する。破損した場合は弁償する。

↓

総文祭囲碁大会終了後に荷造りし、全てまとめて将棋新人戦開催地（下記）に発送。

新潟市立高志中等教育学校 石井 隆 教諭

〒950-8790 新潟県新潟市中央区高志1-15-1

TEL025-286-9811/FAX025-286-9812

到着日は8月4日（月）午前と指定する。段ボールは28個口。

交流会で使用する将棋盤・駒の移動について（茨城県高文連将棋部会所有）

現在の保管場所：水戸葵陵高校・水城高校

7/26に両校顧問が茨城県武道館に運搬。

↓

全国高校将棋選手権大会終了後に両校顧問がそれぞれの学校で保管する。

## 県費での支払いについて

### 部門予算の執行区分

科 目	県	部 会	備 考
報償費	○		講師等謝金
旅費	○		講師等旅費, 運営委員借上げバス
食料費	○	▲	弁当代 ※講師お茶菓子代は部会が執行
消耗品費		○	CD, 交流会消耗品, 運営委員用紙代等
印刷製本費	○		部門プログラム
通信運搬費		○	郵送費(切手・メール便等)
手数料		○	ピアノ調律
委託料	○		警備委託等
使用料及び賃借料	○		会場使用料等

### (4) 予算の執行・管理について

- ① 各部会は、**決裁者（部会長・事務局長）**のほか、**会計担当者及び出納員**を決めて、予算の執行・管理を行う。
- ② 執行（購入）にあたっては、必ず**執行伺（様式1）**を行ったうえで執行手続きをとるとともに、執行後には**出納簿（様式2）**へ記入すること。  
※執行にあたっては、必ず事前に出納員及び決裁者（部会長又は事務局長）の決裁を得ること。
- ③ 支払については、原則、口座振込とするが、少額のものについては立替払も可とする。  
なお、口座振込の場合は納品書を、立替払の場合は購入物品の写真を添付すること。
- ④ 執行に係る必要書類及び決裁区分

購入金額（1件あたり）	見 積 書	請求書(領収書)	納品書(写真)	決裁区分
5万円未満	×	○	○	事務局長
5万円以上10万円未満	1者	○	○	事務局長
10万円以上100万円未満	2者以上	○	○	部会長

- ⑤ 各種書類の宛名は、「いばらき総文2014○○部門」とする。
- ⑥ 予算執行・管理に係る役割について

部 会	役 割	備 考
会計担当者	起票者	執行(支出)伺の起票, 予算の執行管理(支払手続き等)
出納員	審査	執行(支出)伺の内容の審査
事務局長	決裁者	10万円未満の決裁
部会長	決裁者	10万円以上の決裁

- ⑦ 購入後は、執行（支出）伺に、上記④の書類を添付し各部会で保管する。  
また、会計担当者は、業者に支払手続きをとったら、速やかにその支払の事実が分かる書類（通帳の写し）を事務局長あてFAX等で通知し、事務局長は支払の確認（予算の管理含む）をするとともに保管する。
- ⑧ 大会に必要なものであっても、請求書（領収書）・見積書が無い場合は、予算からの執行は認めない。

### (5) 決算報告について

- ① 大会終了後は、**決算報告書（様式3）**を作成し、添付書類とあわせて速やかに県に提出する。  
なお、各部会においては、コピーを保存する。

#### 【提出書類】

- ・決算報告書
  - ・支出伺（原本） ※請求書・見積書等の付属書類含む
  - ・出納簿
  - ・通帳の写し（全ての取引が分かるもの）
- ② 県で書類を確認後、残金が生じている場合は、戻入通知書を発行するので、指定する口座に残金の戻入手続きを行う。（8月末予定）

# 日本将棋連盟の方々の動きについて

式典・競技進行

		日本将棋連盟(敬称略)		場所	
7月26日(土)	来県(ホテル入り)	～15:30		茨城県武道館・会議室	片上大輔 磯辺文敏 戸辺誠 先崎学 本田小百合 梶浦宏孝 荒田敏史
	主催者間会議	16:00～18:00			出席 ホテル待機
7月27日(日)	受	7:50～8:40		茨城県武道館玄関	宿泊ホテルから会場へ移動。8:30には日本将棋連盟控え室へ。8:50会場入場。
	開	9:00～9:40			開会式。片上理事より挨拶(2～3分)。
	競	男女団体戦	男女個人戦	茨城県武道館・大道場	
	予	選1回戦	9:40～10:40	9:40～10:30	10:00～12:00 全国高文連将棋専門部 会
	予	選2回戦	10:50～11:50	10:40～11:30	◎大まかな動きです
	昼	食	12:00～12:40	11:30～12:10	先崎九段、第一試合開始の発声
	予	選3回戦	12:40～13:40	12:10～13:00	指導対局
	予	選4回戦	13:50～14:50	13:10～14:00	①10:00～12:00【剣道場】選手予選中。選手以外が対象。 ②13:00～14:30【会議室】①に同じ。 ③15:00～17:00【会議室】予選敗退選手が主な対象。
	決	勝トーナメント1回戦	15:00～16:00	14:10～15:00	全対局終了後にホテルへ移動。
	決	勝トーナメント2回戦	16:10～17:10	15:10～16:00	
7月28日(月)	決	勝トーナメント3回戦	—	16:10～17:00	
	各	部門5位表彰式	8:10～8:25	茨城県武道館・大道場	8:00会場入り。直接、棋士控え室または大道場へ。 【先崎九段・戸辺六段・本田女流三段】 試合観戦、10:10～男女個人決勝戦大盤解説 【梶浦三段・荒田二段】大道場にて指導対局
	準	決	勝	8:30～10:00	
	決	勝	10:10～11:40	茨城県武道館・会議室	【表彰・免状・優勝杯等授与】 戸辺六段(講評以外の日本将棋連盟の授与全て) 【講評】先崎九段(2～3分)
	閉	会	式	12:10～12:50	茨城県武道館・大道場
離	会	場	14:00～		※競技の進行により、閉会式の時間が変わる可能性があります。

## 諸連絡資料(日本将棋連盟との打ち合わせに基づく)

### ①メダル(優勝～3位)優勝旗レプリカ

発送先と発送時期＝茨城県武道館 7月26日(土) 11時～12時着指定

### ②前年優勝カップレプリカ

発送先と発送時期＝茨城県武道館 7月26日(土) 11時～12時着指定

※確認事項：今回は、男女団体優勝校に返還セレモニー。

前年「個人戦」優勝者にはセレモニーなし。日本将棋連盟から個別に送付

### ③賞状・免状目録

高校選手権・日本将棋連盟賞状 16枚 + 予備4枚

免状目録 男子個人優勝＝五段 男子個人準優勝＝四段

女子個人優勝＝二段 女子個人準優勝＝初段

発送先と発送時期＝茨城県武道館 7月26日(土) 11時～12時着指定

※確認事項：当該段位免状を持っている生徒には免状授与なし。

持っていない選手には、申請用紙を日本将棋連盟職員より当日手渡し。

### ④高校竜王戦招待状

女子個人優勝、団体の優勝(1+3＝4名)が高校竜王戦に招待される

※確認事項：

①女子部門が各ベスト4になったら、ベスト4各校の引率教諭に集ってもらい、優勝した場合は、高校竜王戦に出場できることを伝達。

引率教諭から各校選手に、出場意思の確認をしてもらう。

②高校竜王戦招待状は、日本将棋連盟職員が持参。

③女子団体戦優勝は高校竜王戦出場(出場確定)により初段免状を取得可能となる。

(出場辞退の場合は、授与なし)

選手3名が免状を持っているかどうかを大会当日確認する。

④今年から、参加年齢規定が出来たため、念のため生年月日の確認

## 会場装飾用プランターの設置について

### 1 目的

「いばらき総文2014」への来場者や参加者に対するおもてなしと歓迎の一環として、各会場に草花プランターを設置して装飾し、大会を盛り上げる。

### 2 作成校(太子清流, 水戸農業, 鉾田農業, 石岡第一, 江戸崎総合, 真壁, 坂東総合の7校の生徒)

草花の作成は、県内の農業学科または農業系列のある7校の高校生によるもの。  
現在、大会開催時期、最盛期となるよう草花を栽培しているところ。

### 3 設置箇所及び期間

23部門の全19会場に開催期間中設置する。

### 4 搬入設置日時

搬入日時は下記のとおり。

業者のトラックで会場へ搬入し、プランター作成校の生徒が同行して設置を行う予定。

<草花プランター搬入スケジュール> 開催日の前日等、準備やリハーサルの実施日に搬入を行う。

日	1号車			2号車		
	時間	場所	積 降	時間	場所	積 降
7/26 (土)	9:00	真壁高校	110	9:00	太子清流	100
	11:00	つくばカピオ(開会式, かるた)	30	11:00	東海文化センター(文芸)	50
	12:00	県つくば美術館(写真)	30	12:30	水戸農業	100
	13:30	筑波大学大学会館(新聞)	50	13:30	県武道館(囲碁, 将棋)	50
				14:30	県民文化センター(吹奏楽, 書道)	50
7/27 (日)				15:00	県近代美術館(美術・工芸)	50
	9:00	石岡第一	100	9:00	水戸農業	150
	11:00	県立中央青年の家(ア無)	50	10:30	ひたちなか市文化会館(演劇)	50
	12:00	牛久中央生涯学習センター(日音)	50	12:30	日シビックセンター(放送)	50
	13:00	江戸崎総合	100	15:00	神栖市文化センター(郷芸)	50
7/28 (月)	14:30	ノバホール(器・管, 合唱)	50			
	15:30	つくば国際会議場(自科, コンビ)	50			
	9:00	坂東総合	80	9:00	鉾田農業	110
	10:30	結城市民文化センター(吟詠)	50	11:00	水戸京成百貨店(特支)	30
	12:30	土浦市民会館(弁論)	30	12:00	県立青少年会館(ホウ)	30
				13:30	ひたちなか市総合体育館(M&B)	50

### 5 各部門で対応いただくもの

#### (1) 搬入関係

- ① プランターの担当者(配置及び搬入立会・撤去)の決定(下記(4)により報告)
- ② プランター設置場所の会場との調整及び決定(6月末までに)  
(プランターへの散水用具及び設備等の確認、調整も合わせて行う。)  
※参考 プランターサイズ (650×225×H180)
- ③ 会場の搬入場所(プランターの降ろし場所)の決定(下記(4)により報告)
- ④ プランターの会場への設置の立ち会いとお手伝い

#### (2) 大会期間中の草花の管理

期間中プランターを維持するために、**最低1日2回(朝夕)の水やりが必要**となります。

※1 運営生徒により、対応願います。

※2 散水設備等については、会場と調整願います。(屋内の場合は、2ℓのペットボトルが有効)

#### (3) 撤去関係

1つプランターに鉢が3つ入っているため、**終了時に、観覧者や運営教員・生徒等へお土産として配布し、持ち帰っていただく。**(持ち帰り用のビニール袋は、事務局で用意する。)

1会場で2部門開催となる会場は、協力(分担や相談)して対応いただくようお願いいたします。

#### (4) 報告関係

下記について、**6月30日(月)まで**に担当あてにFAXまたは、メールにて**報告**願います。

ア (1)①の**担当者の「所属校」と「氏名」**(様式は任意)

イ プランターの**「搬入(降ろし)場所」と「設置場所」**を示した図

#### (5) 事務局担当者(報告提出先)

文化課全国高等学校総合文化祭推進室 井桁(イゲタ)

TEL:029-301-5457 FAX:029-301-5469

E-mail:ki680301@pref.ibaraki.lg.jp

# 茨城交道路線バス時刻表

茨大前営業所 Tel 029-251-2334

※この時刻表は通常のものであり、総文祭中の臨時便は含まれません。

水戸駅（北口）→茨城大学・茨大営業所前 方面（5番または7番乗り場から乗車）  
 水戸駅（北口）から茨大営業所前までの料金は330円です（6.5km・24分）。

## 茨城交通バス通過予定時刻表

土曜		南町・泉町・大工町・栄町・末広町・袴塚 経由	茨城大学 方面
	茨大前営業所	五中前経由 赤塚駅北口	
6	38		
7	05 20 25 26 40 46 48 50		
8	00 03 05 13 25 27	52	
9	10 13 18 35 40 50		
10	27 35	35	
11	09 33 45 55		
12	35 45 50		
13	15 33 45 50 53 55		
14	20 27 55	13	
15	10 22 50 50 53	57	
16	08 30 43 45 50 56		
17	23 28 30 35		
18	01 01 15 25 35 45 50	47	
19	11 13 15 16 35 43 50		
20	50		
21	27		
22	32		
備 特:栄町一丁目まで通過 金:祝祭日を除く金曜日のみ運行 ※:学校休運休 考 ■:7/25~8/31間運休 8/13~15・12/29~31は日祝日ダイヤで運行 交通渋滞などにより遅延することがあります。予めご了承願います。 時刻等のお問い合わせ:茨城交通茨大前営業所 Tel.029-251-2334			
<40線飯富経由石塚車庫行き 増発のお知らせ> 増発ダイヤ:水戸駅発19時35分 増発期間:平成26年7月1日(火)~18日(金) 是非、ご利用ください。			
<水戸太田線廃止のお知らせ> 水戸・太田線は、平成26年3月31日をもって、運行を終了し廃止いたします。永らくご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。			

## 茨城交通バス通過予定時刻表

日曜・祝日		南町・泉町・大工町・栄町・末広町・袴塚 経由	茨城大学 方面
	茨大前営業所	五中前経由 赤塚駅北口	
6	38		
7	00 20 26 40 46 48		
8	00 03 13 27	52	
9	10 13 18 35 40 50		
10	27 35	35	
11	09 10 15 33 45		
12	35 45 50 55		
13	15 45 50 53 55		
14	05 27 50 55	13	
15	10 22 50 50 53	57	
16	08 30 43 50 56		
17	20 28 30		
18	01 01 15 15 25 50 58	47	
19	11 13 16 20 35 43		
20	50		
21	27		
22	32		
備 特:栄町一丁目まで通過 金:祝祭日を除く金曜日のみ運行 ※:学校休運休 考 ■:7/25~8/31間運休 8/13~15・12/29~31は日祝日ダイヤで運行 交通渋滞などにより遅延することがあります。予めご了承願います。 時刻等のお問い合わせ:茨城交通茨大前営業所 Tel.029-251-2334			
<40線飯富経由石塚車庫行き 増発のお知らせ> 増発ダイヤ:水戸駅発19時35分 増発期間:平成26年7月1日(火)~18日(金) 是非、ご利用ください。			
<水戸太田線廃止のお知らせ> 水戸・太田線は、平成26年3月31日をもって、運行を終了し廃止いたします。永らくご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。			

茨大営業所前→ 水戸駅（北口）方面

### 茨城交通バス通過予定時刻表

土曜		
水戸駅方面		
新原・自由ヶ丘経由 水戸駅	栄町・水戸駅経由 本郷・笠原	栄町・水戸駅経由 払沢・笠原
5	57	
6	27 40 55	
7	15 25 35 45 57	
8	05 15 25 35 45 55	
9	05 15 25 35 45 55	
10	05 15 25 35 45 55	20
11	05 15 25 35 45 55	
12	05 15 25 35 45 55	
13	05 15 25 35 45 55	05
14	05 15 25 35 45 55	
15	05 15 25 35 45 55	
16	05 15 25 35 45 55	
17	05 15 25 35 45 55	12
18	05 15 25 35 46	
19	00 07 17 27 37 47	
20	00 07 20 37	
21	00 17 52	
備考 逆・逆川経由(文化センターは寄りません) ※:学校休運休 ■:7/25~8/31運休 お盆(8/13~15)・年末(12/29~31)は日祝日ダイヤで運行します。 交通渋滞などにより遅延することがあります。予めご了承ください。時刻などのお問い合わせ:茨城交通 茨大前営業所 TEL029-251-2334		
11茨大正門前行き(止まり)のバスは、営業所構内ではなく、道路反対側の停留所からご乗車ください。 茨大前営業所		

2014.07.13現在

1/1

### 茨城交通バス通過予定時刻表

日曜・祝日		
水戸駅方面		
新原・自由ヶ丘経由 水戸駅	栄町・水戸駅経由 本郷・笠原	栄町・水戸駅経由 払沢・笠原
5	57	
6	27 40 55	
7	15 25 35 45 57	
8	05 15 25 35 45 55	
9	05 15 25 35 45 55	
10	05 15 25 35 45 55	20
11	05 15 25 35 45 55	
12	05 15 25 35 45 55	
13	05 15 25 35 45 55	05
14	05 15 25 35 45 55	
15	05 15 25 35 45 55	
16	05 15 25 35 45 55	
17	05 15 25 35 45 55	12
18	05 15 25 35 46	
19	00 07 17 27 37 47	
20	00 07 20 37	
21	00 17 52	
備考 逆・逆川経由(文化センターは寄りません) ※:学校休運休 ■:7/25~8/31運休 お盆(8/13~15)・年末(12/29~31)は日祝日ダイヤで運行します。 交通渋滞などにより遅延することがあります。予めご了承ください。時刻などのお問い合わせ:茨城交通 茨大前営業所 TEL029-251-2334		
11茨大正門前行き(止まり)のバスは、営業所構内ではなく、道路反対側の停留所からご乗車ください。 茨大前営業所		

2014.07.13現在

1/1

# 緊急時対応マニュアル（参加者のみなさまへ）

## I 大会参加にあたっての留意事項

### 1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- (1) 体調を十分に整えて参加してください。
- (2) 茨城の夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- (3) 救護所に内服薬は置いていません。日頃内服している常備薬は、必ず携行してください。
- (4) 引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。  
※アレルギー、心臓疾患等の体質・症状など
- (5) 医療機関における医療費は受診者負担になります。なお、受診者が健康保険証を携行していない場合は、原則として全額負担となります。
- (6) 感染症（インフルエンザや麻疹（はしか）等）の予防のため、屋外から宿舎に戻った時や飲食の前に手洗い、うがいを行いましょう。また、感染症の疑いがある場合は、直ちに引率者に相談し、適切な対応を取ってください。

### 2 貴重品・手荷物の管理は自己管理してください。

緊急時に備え、常にまとめておきましょう。

### 3 自然災害に備えましょう。

- (1) 注意報、警報などの気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握しておいてください。
- (2) 災害時の安否確認  
震度6以上の地震や豪雨などの災害時に、被災地等へ安否確認のため、下記のサービスが利用できます。詳しくは各電話会社に確認してください。
  - ①災害用伝言板サービス（携帯電話）  
携帯電話各社にて、災害用伝言板サービスを提供しています。
  - ②災害用伝言ダイヤル『171』（一般電話、公衆電話）  
NTTにより提供されています。

URL : <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

## II 緊急時の連絡体制

### 1 連絡手段等

#### (1) 「いばらき総文2014」大会ホームページへの情報掲載

右記のQRコードを読み取るか、下記のURL（パソコン・携帯電話）から大会ホームページに接続し、トップページの「最新情報」で情報を入手してください。

大会ホームページ

URL : <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/soubun2014/>



## (2) 大会本部用緊急連絡先

第38回全国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会

TEL：029-301-5457 FAX：029-301-5469

※大会期間中の夜間の緊急連絡先は、大会ホームページで確認してください。

## 2 開催計画変更時の対応

当日の部門大会 開始時刻の繰り 下げの場合 (開始時刻未定等)	宿舍又は自宅に いる場合	① 次の部門大会開催情報が更新されるまでは、原則として、宿舍又は自宅で待機してください。 ② 警報などが解除され、当日の開催を決定した時点で、ホームページ等で連絡します。
	移動中の場合	原則として、宿舍又は自宅に戻ることにしますが、移動の状態により、引率者が、戻るか会場に向かうかを判断してください。
	会場にいる場合	部門責任者の指示に従い、速やかに行動してください。
当日の部門大会終了時刻の繰り上げが決定された場合		部門責任者の指示に従い、速やかに行動してください。
当日の部門大会が開催中止となった場合		特に連絡のない限り、宿舍又は自宅にて待機してください。 開催会場は、原則として開場しません。

※ 当日の部門大会開催情報は随時更新されますので、ホームページの「最新情報」の閲覧などにより、最新情報の入手に努めてください。なお、トラベルセンター配宿の宿舍、会場最寄りの駅に設置する案内所にも、部門大会開催情報などを掲示します。

## 3 医療救護体制

### ① 会場における救護

各会場には救護所を設置しています。大会開催中、救護所には養護教諭又は看護師を配置し、体調不良やけがをした参加者等に対して応急処置を行います。

なお、医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を紹介するほか、緊急を要する場合は、救急車の出動要請を行いますので、引率者は必ず同行してください。

※救護体制①参照。

### ② 宿舍等での対応

宿舍等で傷病者が発生した場合、引率者は必要に応じ、救急車の出動要請や医療機関の受診等を行うようにしてください。いずれの場合も引率者は必ず同行してください。

※軽度の傷病を除き、大会本部への緊急連絡をお願いします。

※救護体制②参照。

### ③ 医療機関の検索

医療機関の検索については、茨城県が運営する『茨城県救急医療情報システム』等により行ってください。(次ページ参照)

なお、受診される場合は、必ず医療機関に確認の電話を入れ、症状を伝えてください。

### ④ 医療機関受診後の報告

医療機関受診後は、引率者が「受診報告書」に必要事項を記入のうえ、救護所又は大会本部へ

提出してください。

#### 医療機関の検索方法（携帯電話の場合）

- 1 下記のURL（携帯電話用）から接続する。

アドレス <http://www.qq.pref.ibaraki.jp/kt/>



- 2 トップページメニューから検索
  1. 今見てもらえるDr. : 時刻・診療科の選択→市町村の選択
  2. 当番医検索 : 休日の当番医療機関の検索
  3. 休日夜間診療所 : 休日と夜間の初期救急対応施設の検索

#### 医療機関の検索方法（パソコンの場合）

- 1 下記のURLから接続する。

アドレス <http://www.qq.pref.ibaraki.jp/>

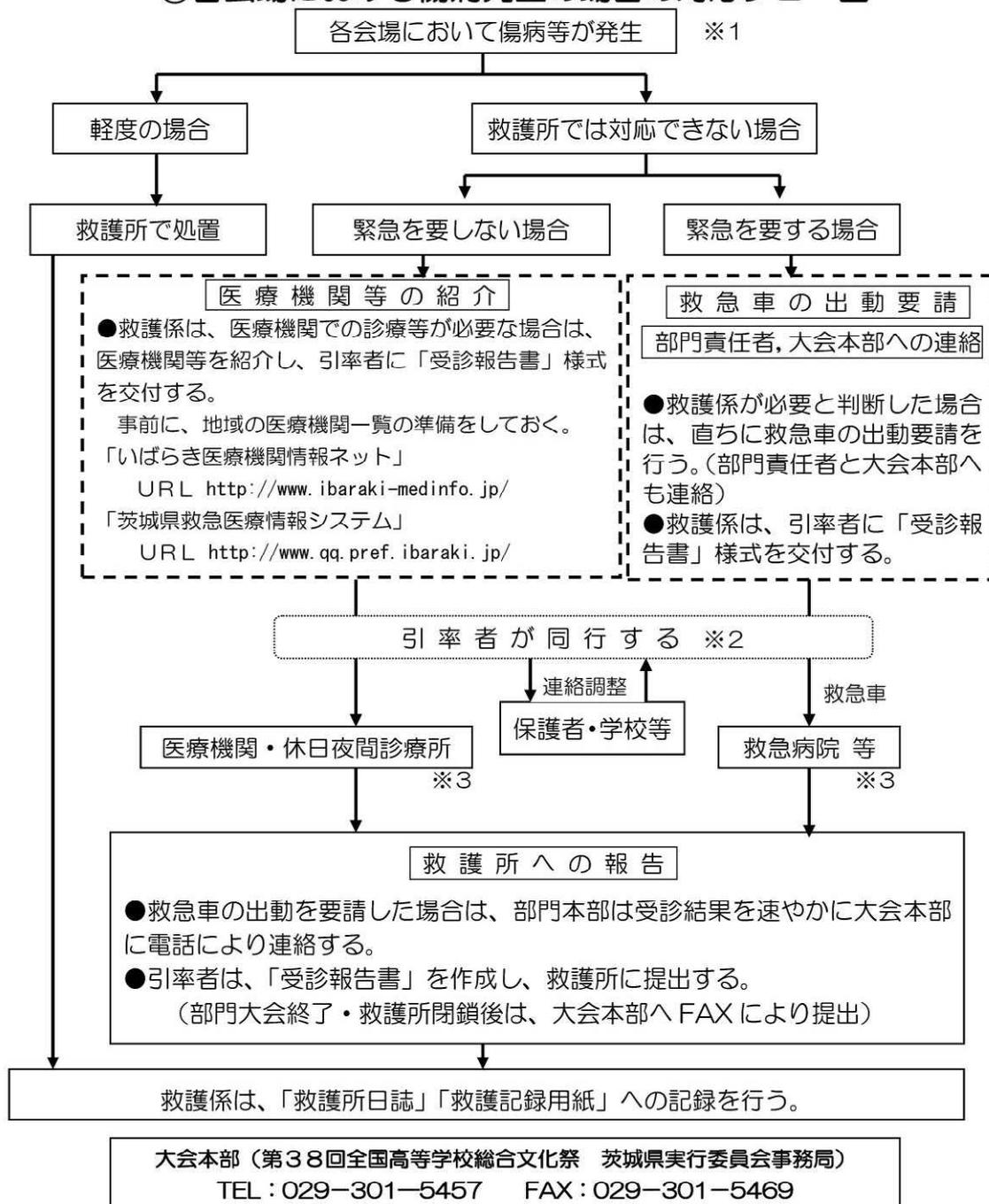
- 2 トップページメニューから検索
  - 今見てもらえるお医者さん : 市町村の選択→時刻・診療科の選択
  - 休日夜間当番医検索 : 休日と夜間の初期救急対応施設の検索

#### （4）不審者、不審物への対応

- ① 不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営スタッフにお知らせください。
- ② 身の安全を第一に考えて行動してください。不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、大声で応援を呼んでください。  
また、不審物には触れないようにお願いします。

# 救護体制（各会場）

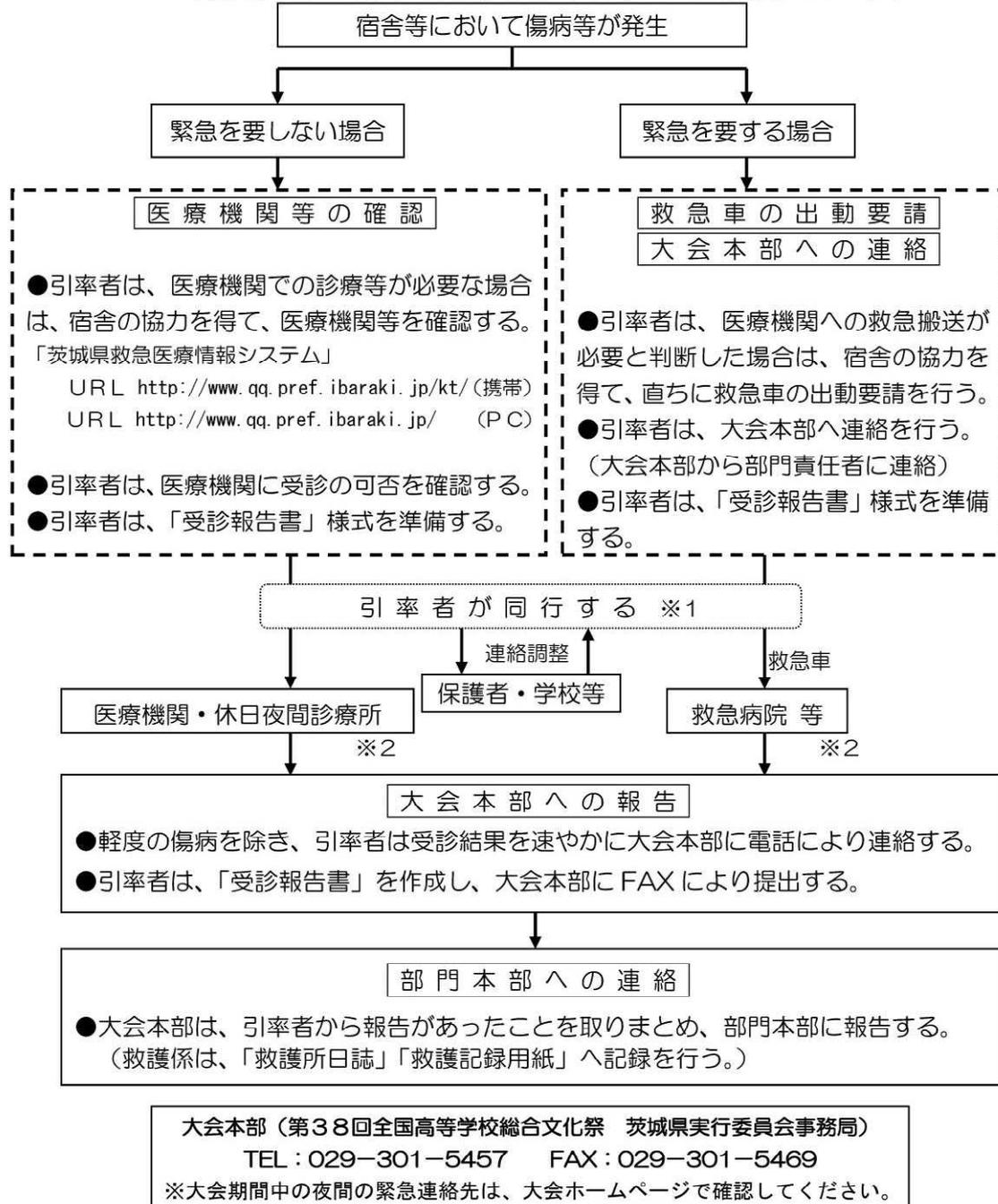
## ①各会場における傷病発生の場合の対応フロー図



- ※1 緊急を要する場合は、発見者等が直接救急車の出動を要請します。
- ※2 会場（救護所）からの救急搬送、医療機関・休日夜間診療所への移送は、引率者が必ず同行してください。
- ※3 医療機関における医療費は受診者負担となります。なお、受診者が健康保険証を携行していない場合は、原則として全額負担となります。

## 救護体制（宿舎等）

### ②宿舎等における傷病発生の場合の対応フロー図



※1 宿舎からの救急搬送、医療機関・休日夜間診療所への移送は、引率者が必ず同行してください。

※2 医療機関における医療費は受診者負担となります。なお、受診者が健康保険証を携行していない場合は、原則として全額負担となります。

平成 26 年 7 月 日

**受 診 報 告 書**

＜大会本部＞

第 38 回全国高等学校総合文化祭 茨城県実行委員会事務局 行き  
 (TEL 029-301-5457 FAX 029-301-5469)

部 門 名: \_\_\_\_\_

報告者氏名: \_\_\_\_\_

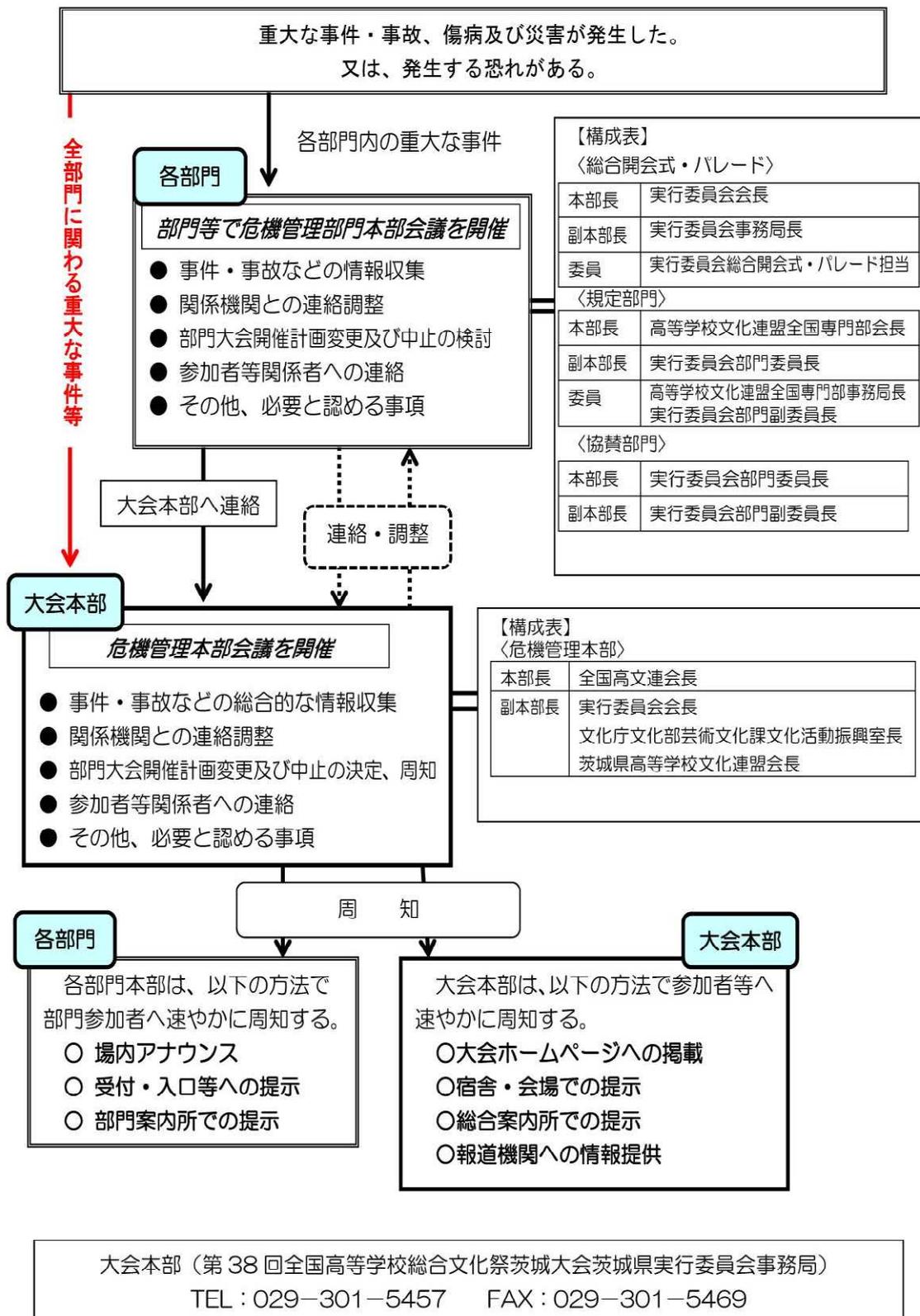
下記の者が医療機関において診療を受けましたので報告します。

都道府県名		傷病者の区分 (○を付ける)	参加生徒・引率教員・ 運営生徒・運営教員・( )
(ふりがな)	( )	生年月日	年 月 日 生
傷病者名		性別/学年	男・女 / 年
学 校 名	電話 ( ) -		
宿 舎 名	電話 ( ) -		
症 状			
医療機関名	電話 ( ) -		
受 診 日 時	平成 26 年 7 月 日 午前・午後 時 分	傷病発生場所/ 救急搬送の有無	会場・宿舍・( ) / 救急搬送・それ以外
受 診 結 果			
健康保険証	有 無	その他特記事項	

《記入上の注意》

- ① 症状はできるだけ詳しく記入してください。
- ② 実行委員会が傷病者の個人情報を収集することは、参加時に了承済みです。  
 【会場（救護所）からの救急搬送、医療機関等への移送の場合】  
 ① 引率者は、「受診報告書」様式を救護所で受け取ってください。  
 ② 医療機関受診後、「受診報告書」様式に必要事項を記入し、会場に戻った際に救護所に提出してください。救護所の閉所時  
 又は直接宿舍等に帰った場合は、＜大会本部＞へFAXにより報告してください。なお、救急車の出動を要請した場合は、  
 受診結果を速やかに＜大会本部＞に電話により連絡してください。  
 【宿舍からの救急搬送、医療機関等への移送の場合】  
 ① 引率者は、「部門実施要領」中の「受診報告書」様式をコピーして準備してください。  
 ② 医療機関受診後、「受診報告書」に必要事項を記入し、＜大会本部＞へFAXにより提出してください。なお、救急車の出  
 動を要請した場合は、受診結果を速やかに＜大会本部＞に電話により連絡してください。  
 \* 「受診報告書」は、部門大会全日程終了後、部門責任者が「救護所日誌」、「救護記録用紙」とともに、＜大会本部＞に提出  
 してください。

## 《緊急時の対応フローチャート》



参加者のみなさんへ

## 第38回全国高等学校総合文化祭における個人情報の取扱いについて

- 第38回全国高等学校総合文化祭への参加申込書を提出された方については、次のとおり取扱うこととなりますので、ご了承ください。
- なお、この取扱いは、準備活動、練習、広報PR活動、開催日における運営等、関連行事のすべてが対象となります。

### 1 個人情報の内容

- (1) 参加者のみなさんの氏名、学校名、学年、性別
- (2) 入賞・入選・表彰結果等
- (3) 参加者・作品の記録写真・記録映像等

### 2 個人情報の利用目的

- (1) プログラム、部門作品集、実施要領等の運営に関する資料への掲載
- (2) 展示キャプション等の掲示
- (3) 会場内アナウンス等
- (4) ホームページ、記録集、記録DVD等記録関係資料への掲載
- (5) 報道機関等への提供（テレビ、ホームページ、新聞、雑誌等に写真や映像が使用されることがあります。）

### 3 個人情報の適正管理

取得した個人情報を2の利用目的以外に使用することはありません。ただし、緊急時の際、医療機関等との間で個人情報を提供又は収集することがあります。

### 4 その他

- (1) 演奏、演技、展示、競技等の様子について、実行委員会事務局が許可した業者が撮影を行うことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いについてわからないことがあれば、実行委員会事務局にお問い合わせください。

〈連絡先・問い合わせ先〉

第38回全国高等学校総合文化祭茨城県実行委員会事務局

TEL：029-301-5457 / FAX：029-301-5469

「いばらき総文2014」大会ホームページ

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/soubun2014/>